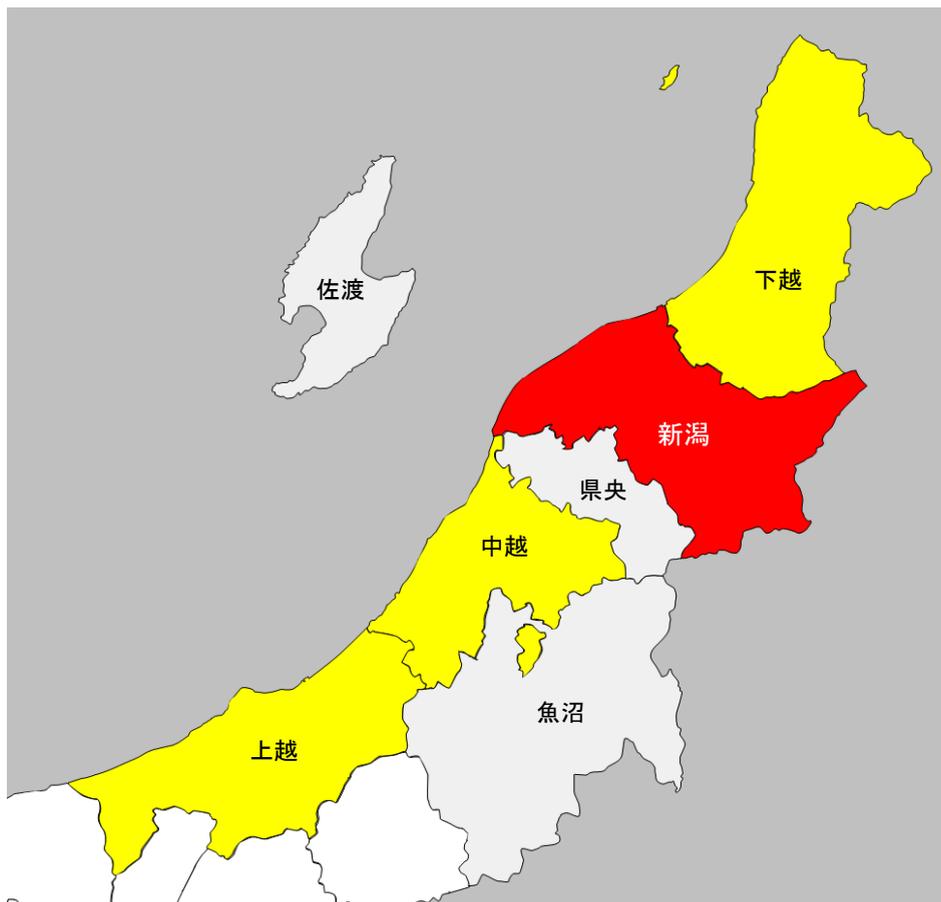


# 15. 新潟県



(注) 魚沼市は、平成25年の医療圏組み換え時に中越医療圏となったが、上の地図には反映されていない。

目次

新潟県	15	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	15	-	8
1. 下越医療圏	15	-	20
2. 新潟医療圏	15	-	25
3. 県央医療圏	15	-	30
4. 中越医療圏	15	-	35
5. 魚沼医療圏	15	-	40
6. 上越医療圏	15	-	45
7. 佐渡医療圏	15	-	50



## （新潟県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 新潟県は、総人口約2297千人（2015年推計）、面積12584km<sup>2</sup>、人口密度は183人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 新潟県の総人口は2025年に2112千人へと減少し（2015年比－8%）、2040年に1791千人へと減少する（2025年比－15%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の363千人が、2025年にかけて427千人へと増加し（2015年比＋18%）、2040年には426千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 新潟県の一人当たり医療費（国保）は328千円（偏差値52）、介護給付費は292千円（偏差値60）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 新潟県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44（病院医師数45、診療所医師数43）と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 新潟県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、36027人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が27830床（偏差値63）、高齢者住宅等が8197床（偏差値39）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、30182人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム42、軽費ホーム47、グループホーム46、サ高住42である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員（在宅）の合計は、2892人（75歳以上1000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

新潟県の総人口は、2005年2431459人が、2015年に2297441人と6%減少し、2025年の人口が2112473人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

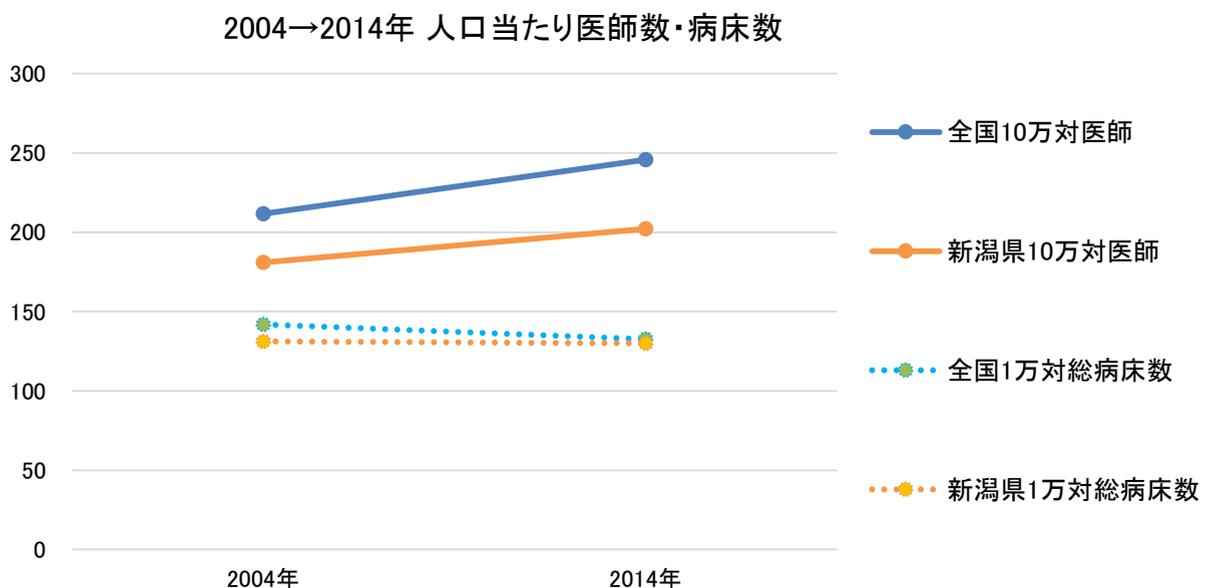
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が139(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に131(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1719(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1687(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、32診療所が減少した。

2004年の総病床数が31894床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に29851床(人口1万人当たり130(全国平均133)偏差値50)と、2043床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

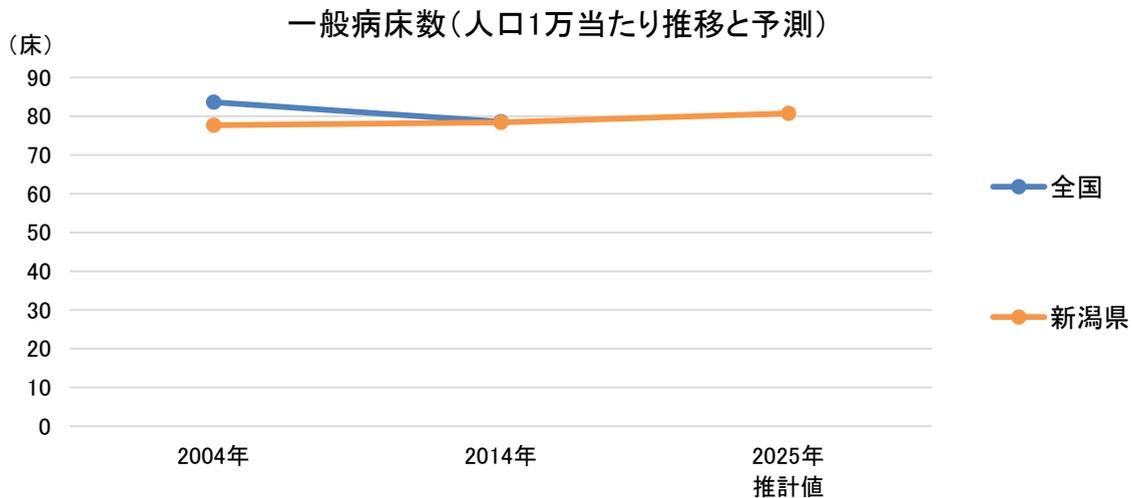
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が4400人(人口10万人当たり181人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に4646人(人口10万人当たり202人(全国平均246人)偏差値46)と、246人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 15. 新潟県（2016年版）

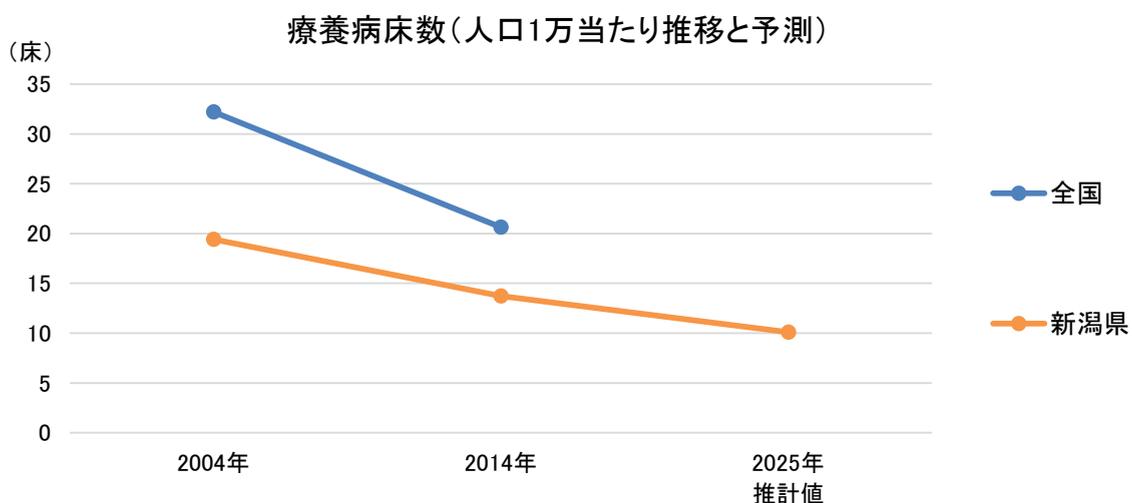
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が18885床(人口1万人当たり78(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に18018床(人口1万人当たり78(全国平均79)偏差値50)と、867床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には17064床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



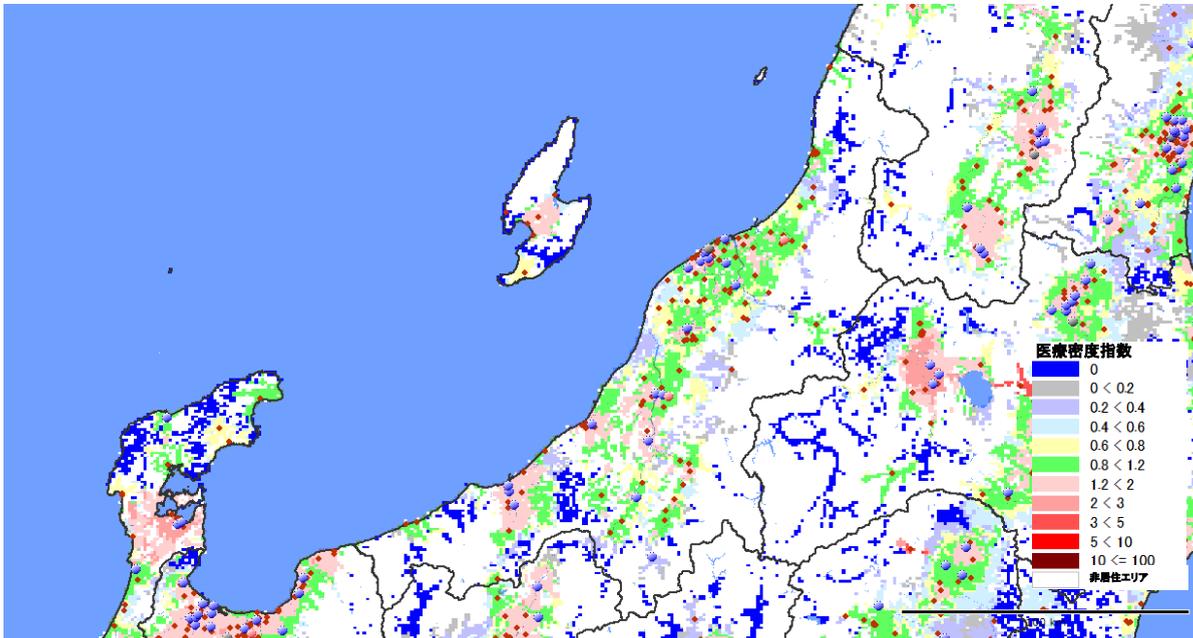
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5581床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に4977床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、604床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4313床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

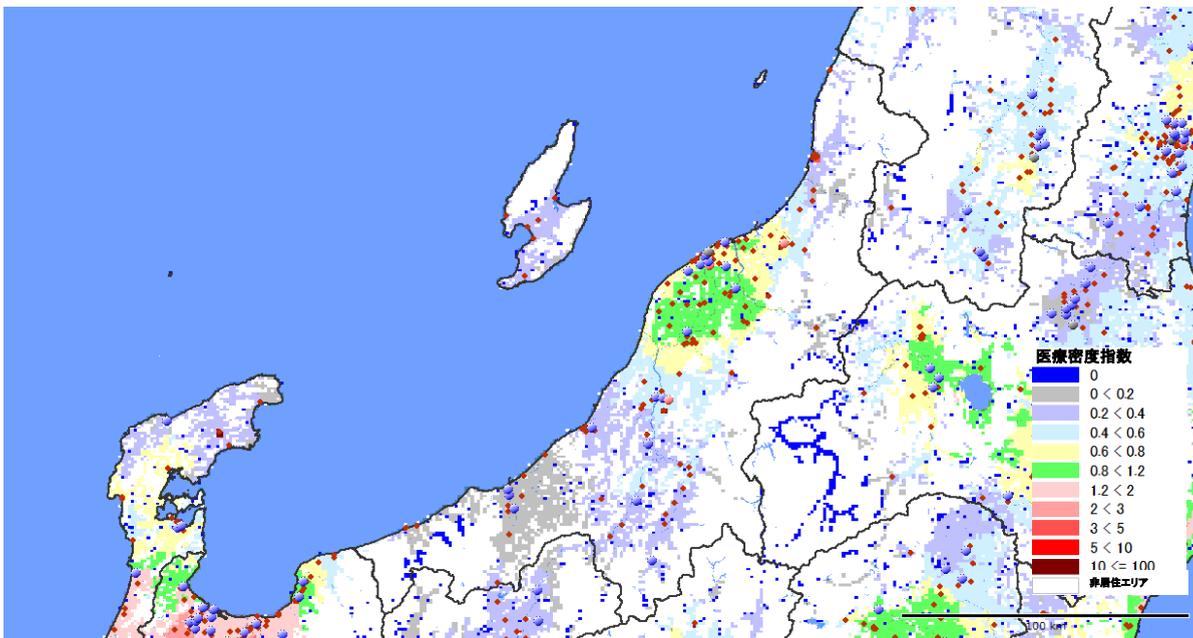


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-2 慢性期医療密度指数マップ



15. 新潟県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 15-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
新潟県	2,297	15位	12,584	5位	182.6		30%	2,112	1,791	363	427	426	-8%	-15%	18%	0%
下越	208	9%	2,320	18%	89.9	地方都市型	32%	186	150	36	40	38	-11%	-19%	11%	-5%
新潟	909	40%	2,224	18%	408.6	地方都市型	28%	855	745	128	163	169	-6%	-13%	27%	4%
県央	227	10%	734	6%	309.3	地方都市型	30%	207	172	35	42	41	-9%	-17%	20%	-2%
中越	449	20%	1,637	13%	274.2	地方都市型	30%	413	350	71	83	82	-8%	-15%	17%	-1%
魚沼	171	7%	2,649	21%	64.5	過疎地域型	33%	152	125	32	35	35	-11%	-18%	9%	0%
上越	276	12%	2,165	17%	127.3	地方都市型	31%	251	210	47	53	50	-9%	-16%	13%	-6%
佐渡	58	3%	855	7%	67.7	過疎地域型	40%	49	37	14	13	11	-16%	-24%	-7%	-15%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 15-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
新潟県	1.03	0.82	-3.7%	-3.4%
下越	0.75	0.98	6.7%	10.4%
新潟	1.06	1.01	-15.8%	-20.1%
県央	0.85	0.71	-14.8%	-12.6%
中越	1.12	0.64	-7.9%	-7.9%
魚沼	0.96	0.20	-0.1%	0.9%
上越	1.25	0.72	7.2%	10.9%
佐渡	0.76	1.95	8.6%	24.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 15-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
新潟県	328	52	0.874	292	60
下越	328	52	0.962	278	57
新潟	330	53	0.981	292	60
県央	318	50	0.926	267	54
中越	325	52	0.934	282	58
魚沼	284	41	0.858	305	64
上越	373	63	1.035	327	70
佐渡	326	52	0.922	309	65
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 15-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
新潟県	131	1.5%	5.7	48	1,687	1.7%	73	47
下越	17	13%	8.2	54	153	9%	73	47
新潟	50	38%	5.5	47	728	43%	80	50
県央	10	8%	4.4	44	173	10%	76	48
中越	20	15%	4.5	45	307	18%	68	44
魚沼	14	11%	8.2	54	102	6%	60	40
上越	14	11%	5.1	46	186	11%	67	44
佐渡	6	5%	10.4	59	38	2%	66	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 15-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
新潟県	1,687	1.7%	73	47	1,623	1.8%	71	49	64	0.8%	2.8	44
下越	153	9%	73	47	146	9%	70	49	7	11%	3.4	45
新潟	728	43%	80	50	703	43%	77	52	25	39%	2.8	44
県央	173	10%	76	48	164	10%	72	50	9	14%	4.0	46
中越	307	18%	68	44	299	18%	67	47	8	13%	1.8	43
魚沼	102	6%	60	40	97	6%	57	42	5	8%	2.9	44
上越	186	11%	67	44	176	11%	64	45	10	16%	3.6	46
佐渡	38	2%	66	43	38	2%	66	46	0	0%	0	40
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

15. 新潟県（2016年版）

資\_図表 15-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
新潟県	29,065	1.9%	1,265	51	786	0.7%	34	45	29,851	1.8%	1,299	50
下越	2,583	9%	1,239	50	75	10%	36	45	2,658	9%	1,275	49
新潟	12,075	42%	1,329	52	298	38%	33	45	12,373	41%	1,362	51
県央	2,246	8%	990	45	118	15%	52	47	2,364	8%	1,042	45
中越	6,056	21%	1,349	52	93	12%	21	44	6,149	21%	1,370	51
魚沼	2,200	8%	1,287	51	70	9%	41	45	2,270	8%	1,328	50
上越	3,163	11%	1,147	48	132	17%	48	46	3,295	11%	1,195	48
佐渡	742	3%	1,281	51	0	0%	0	42	742	2%	1,281	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 15-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
新潟県	17,281	1.9%	752	52	4,928	1.5%	214	48	6,760	2.0%	294	51
下越	1,278	7%	613	46	545	11%	261	50	756	11%	363	54
新潟	7,042	41%	775	53	2,421	49%	266	50	2,574	38%	283	51
県央	1,460	8%	644	47	546	11%	241	49	240	4%	106	43
中越	3,608	21%	804	54	841	17%	187	47	1,567	23%	349	54
魚沼	1,235	7%	722	51	335	7%	196	47	630	9%	368	55
上越	2,164	13%	785	53	154	3%	56	40	835	12%	303	52
佐渡	494	3%	853	56	86	2%	149	45	158	2%	273	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 15-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
新潟県	828	1.2%	36	46	854	2.4%	37	51
下越	48	6%	23	43	148	17%	71	58
新潟	460	56%	51	49	388	45%	43	52
県央	60	7%	26	44	120	14%	53	54
中越	205	25%	46	48	30	4%	7	44
魚沼	0	0%	0	38	79	9%	46	52
上越	55	7%	20	42	89	10%	32	50
佐渡	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 15-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
新潟県	13,294	11,519	572	15,366	5,421	4,374	68.0%	57	11.6%	51
下越	1,083	988	46	1,500	290	499	77.3%	60	8.4%	50
新潟	3,795	3,631	42	8,124	3,182	2,448	53.3%	50	1.7%	47
県央	1,129	1,099	30	1,066	310	516	78.0%	61	5.5%	48
中越	2,601	2,119	52	2,863	967	729	68.7%	57	6.7%	49
魚沼	1,652	1,177	295	989	515	100	69.6%	57	74.7%	78
上越	2,365	2,050	55	790	157	48	92.9%	67	53.4%	69
佐渡	669	455	52	34	0	34	100.0%	70	60.5%	72

出典 地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む)  
公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。

資\_図表 15-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
新潟県	46,800	1.7%	2,037	48	20,316	2.0%	884	53
下越	3,792	8%	1,819	46	2,016	10%	967	56
新潟	22,656	48%	2,494	53	7,920	39%	872	52
県央	3,264	7%	1,439	43	2,268	11%	1,000	57
中越	9,456	20%	2,106	49	3,900	19%	869	52
魚沼	2,124	5%	1,242	41	1,380	7%	807	50
上越	4,608	10%	1,671	45	2,388	12%	866	52
佐渡	900	2%	1,554	44	444	2%	767	49

出典 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資\_図表 15-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
新潟県	4,865	1.4%	212	44	2,999	1.4%	131	45	1,866	1.4%	81	43
下越	391	8%	187	41	238	8%	114	42	153	8%	73	41
新潟	2,385	49%	263	49	1,510	50%	166	50	875	47%	96	48
県央	362	7%	160	38	166	6%	73	36	196	11%	86	45
中越	872	18%	194	42	550	18%	123	44	321	17%	72	40
魚沼	256	5%	150	37	159	5%	93	39	97	5%	56	36
上越	493	10%	179	40	301	10%	109	41	193	10%	70	40
佐渡	106	2%	183	41	76	3%	131	45	30	2%	52	34

出典 病院医師数と診療所医師数の合計 平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月

平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

15. 新潟県 (2016年版)

資\_図表 15-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
新潟県	276	1.8%	12.0	49	187	1.5%	8.1	46	150	1.4%	6.5	46
下越	19	7%	9.1	45	10	5%	4.8	39	8	5%	3.8	38
新潟	158	57%	17.4	57	99	53%	10.9	52	92	61%	10.1	55
県央	15	5%	6.6	41	18	10%	7.9	46	6	4%	2.6	35
中越	38	14%	8.5	44	38	20%	8.5	47	25	17%	5.6	43
魚沼	9	3%	5.3	39	6	3%	3.5	36	7	5%	4.1	39
上越	34	12%	12.3	50	15	8%	5.4	40	12	8%	4.4	40
佐渡	3	1%	5.2	39	1	1%	1.7	32	0	0%	0	28
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 15-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
新潟県	78	1.5%	3.4	46	150	1.6%	6.5	47	106	1.4%	4.6	45
下越	7	9%	3.4	46	11	7%	5.3	43	7	7%	3.4	40
新潟	47	60%	5.2	55	84	56%	9.2	56	62	58%	6.8	54
県央	4	5%	1.8	39	12	8%	5.3	43	10	9%	4.4	44
中越	8	10%	1.8	39	24	16%	5.3	44	14	13%	3.1	39
魚沼	3	4%	1.8	39	5	3%	2.9	36	2	2%	1.2	32
上越	8	10%	2.9	44	12	8%	4.4	40	11	10%	4.0	43
佐渡	1	1%	1.7	39	2	1%	3.5	38	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 15-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
新潟県	96	1.2%	4.2	43	260	1.3%	11.3	43	252	1.6%	11.0	47
下越	6	6%	2.9	40	19	7%	9.1	40	28	11%	13.4	53
新潟	44	46%	4.8	45	133	51%	14.6	48	120	48%	13.2	52
県央	3	3%	1.3	35	15	6%	6.6	37	25	10%	11.0	48
中越	29	30%	6.5	50	46	18%	10.2	42	44	17%	9.8	45
魚沼	5	5%	2.9	40	11	4%	6.4	36	10	4%	5.8	36
上越	6	6%	2.2	38	33	13%	12.0	44	24	10%	8.7	42
佐渡	3	3%	5.2	46	3	1%	5.2	35	1	0%	1.7	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 15-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
新潟県	70	1.2%	3.0	43	114	1.8%	5.0	50	79	1.5%	3.4	47
下越	7	10%	3.4	44	10	9%	4.8	49	2	3%	1.0	39
新潟	37	53%	4.1	48	55	48%	6.1	54	54	68%	5.9	56
県央	4	6%	1.8	37	7	6%	3.1	42	0	0%	0	36
中越	15	21%	3.3	44	19	17%	4.2	47	11	14%	2.5	44
魚沼	0	0%	0	28	6	5%	3.5	44	0	0%	0	36
上越	6	9%	2.2	39	15	13%	5.4	52	12	15%	4.4	51
佐渡	1	1%	1.7	37	2	2%	3.5	43	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 15-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
新潟県	71	1.1%	3.1	43	20	1.3%	0.9	46	36	1.1%	1.6	44
下越	7	10%	3.4	44	2	10%	1.0	47	3	8%	1.4	43
新潟	43	61%	4.7	49	9	45%	1.0	48	25	69%	2.8	51
県央	5	7%	2.2	40	0	0%	0	37	0	0%	0	35
中越	9	13%	2.0	40	5	25%	1.1	49	3	8%	0.7	39
魚沼	3	4%	1.8	39	1	5%	0.6	43	1	3%	0.6	38
上越	4	6%	1.5	38	3	15%	1.1	49	4	11%	1.5	43
佐渡	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 15-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
新潟県	25	1.3%	1.1	46	35	1.5%	1.5	47
下越	1	4%	0.5	41	4	11%	1.9	50
新潟	17	68%	1.9	53	21	60%	2.3	53
県央	1	4%	0.4	41	1	3%	0.4	39
中越	3	12%	0.7	43	6	17%	1.3	46
魚沼	0	0%	0	37	3	9%	1.8	49
上越	3	12%	1.1	46	0	0%	0	36
佐渡	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

15. 新潟県 (2016年版)

資\_図表 15-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
新潟県	19,721	1.8%	858	50	16,326	1.8%	711	50	3,396	1.7%	148	49
下越	1,731	9%	830	49	1,364	8%	654	48	367	11%	176	53
新潟	8,629	44%	950	53	7,052	43%	776	53	1,577	46%	174	52
県央	1,461	7%	644	42	1,096	7%	483	40	364	11%	161	51
中越	3,958	20%	882	50	3,419	21%	762	52	539	16%	120	45
魚沼	1,309	7%	766	46	1,120	7%	655	48	189	6%	111	44
上越	2,181	11%	791	47	1,870	11%	678	49	311	9%	113	44
佐渡	453	2%	782	47	405	2%	699	49	48	1%	82	40
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 15-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
新潟県	1,640	1.4%	71	46	4,247	1.5%	185	46
下越	141	9%	68	45	323	8%	155	43
新潟	821	50%	90	49	2,061	49%	227	50
県央	99	6%	44	40	380	9%	168	44
中越	325	20%	72	46	718	17%	160	43
魚沼	85	5%	49	41	224	5%	131	40
上越	145	9%	53	42	472	11%	171	44
佐渡	24	1%	41	40	69	2%	119	39
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 15-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
新潟県	131	0.9%	0.4	38	11	1.0%	0.0	44	140	1.5%	0.4	39
下越	4	3%	0.1	33	1	9%	0.0	44	10	7%	0.3	33
新潟	48	37%	0.4	39	5	45%	0.0	45	58	41%	0.5	43
県央	6	5%	0.2	34	0	0%	0	39	15	11%	0.4	42
中越	29	22%	0.4	40	0	0%	0	39	24	17%	0.3	37
魚沼	11	8%	0.3	38	4	36%	0.1	59	15	11%	0.5	43
上越	32	24%	0.7	46	1	9%	0.0	43	16	11%	0.3	37
佐渡	1	1%	0.1	32	0	0%	0	39	2	1%	0.1	26
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 15-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	36,027	2.2%	99	50	27,830	2.8%	77	63	8,197	1.3%	23	39
下越	3,617	10%	101	51	2,918	10%	81	67	699	9%	19	37
新潟	12,753	35%	99	50	10,236	37%	80	66	2,517	31%	20	37
県央	3,150	9%	90	45	2,551	9%	73	61	599	7%	17	35
中越	7,054	20%	100	50	4,914	18%	70	58	2,140	26%	30	44
魚沼	2,982	8%	92	46	2,294	8%	71	59	688	8%	21	38
上越	5,239	15%	113	58	3,827	14%	82	68	1,412	17%	30	44
佐渡	1,232	3%	88	43	1,090	4%	78	65	142	2%	10	30
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 15-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	10,228	2.8%	28	61	15,963	2.9%	44	60	1,639	2.4%	4.5	51
下越	1,105	11%	31	65	1,498	9%	42	58	315	19%	8.8	61
新潟	4,098	40%	32	67	5,549	35%	43	60	589	36%	4.6	51
県央	982	10%	28	61	1,328	8%	38	54	241	15%	6.9	57
中越	1,648	16%	23	52	2,810	18%	40	56	456	28%	6.5	56
魚沼	603	6%	19	44	1,653	10%	51	67	38	2%	1.2	43
上越	1,392	14%	30	64	2,435	15%	52	69	0	0%	0	40
佐渡	400	4%	29	62	690	4%	49	66	0	0%	0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 15-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	1,864	0.8%	5.1	42	263	1.2%	0.7	47	3,386	1.8%	9.3	46
下越	80	4%	2.2	39	80	30%	2.2	54	411	12%	11.4	50
新潟	593	32%	4.6	41	24	9%	0.2	44	864	26%	6.7	41
県央	147	8%	4.2	41	0	0%	0	43	270	8%	7.8	43
中越	693	37%	9.8	46	29	11%	0.4	45	754	22%	10.7	48
魚沼	40	2%	1.2	38	80	30%	2.5	55	358	11%	11.1	49
上越	311	17%	6.7	43	50	19%	1.1	49	639	19%	13.7	54
佐渡	0	0%	0	37	0	0%	0	43	90	3%	6.4	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

15.新潟県（2016年版）

資\_図表 15-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
新潟県	2,684	1.3%	7.4	42	173	1.3%	0.5	48	2,511	1.3%	6.9	42
下越	128	5%	3.6	36	0	0%	0	45	128	5%	3.6	36
新潟	1,036	39%	8.1	43	54	31%	0.4	48	982	39%	7.6	43
県央	182	7%	5.2	39	0	0%	0	45	182	7%	5.2	39
中越	664	25%	9.4	45	70	40%	1.0	51	594	24%	8.4	44
魚沼	210	8%	6.5	40	49	28%	1.5	55	161	6%	5.0	39
上越	412	15%	8.9	44	0	0%	0	45	412	16%	8.9	45
佐渡	52	2%	3.7	36	0	0%	0	45	52	2%	3.7	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 15-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
新潟県	3,279	2.0%	9.0	47	2,677	2.3%	7.4	51	602	1.4%	1.7	39
下越	353	11%	9.8	50	323	12%	9.0	58	30	5%	0.8	30
新潟	1,259	38%	9.8	50	995	37%	7.7	53	263	44%	2.1	44
県央	327	10%	9.4	48	264	10%	7.6	52	63	10%	1.8	41
中越	641	20%	9.1	47	516	19%	7.3	51	125	21%	1.8	41
魚沼	231	7%	7.1	39	180	7%	5.6	43	51	8%	1.6	38
上越	388	12%	8.3	44	324	12%	7.0	49	64	11%	1.4	36
佐渡	81	2%	5.8	33	74	3%	5.3	41	6	1%	0.5	25
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 15-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
新潟県	33,074	2.2%	91	51	30,182	2.4%	83	56	2,892	1.3%	8.0	40
下越	3,185	10%	89	49	2,960	10%	82	55	225	8%	6.3	37
新潟	11,904	36%	93	52	10,660	35%	83	56	1,244	43%	9.7	43
県央	3,102	9%	89	49	2,852	9%	82	55	250	9%	7.2	38
中越	6,148	19%	87	48	5,684	19%	81	54	464	16%	6.6	37
魚沼	2,776	8%	86	46	2,596	9%	80	53	180	6%	5.6	35
上越	4,809	15%	103	61	4,428	15%	95	66	380	13%	8.2	40
佐渡	1,151	3%	82	44	1,003	3%	72	46	148	5%	10.6	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 15-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
新潟県	11,694	1.1%	32	39	6,919	1.7%	19	44	21,810	1.5%	60	40
下越	704	6%	20	35	383	6%	11	37	1,542	7%	43	35
新潟	4,620	40%	36	40	3,043	44%	24	49	9,066	42%	71	44
県央	443	4%	13	33	642	9%	18	44	1,521	7%	44	35
中越	2,433	21%	35	40	1,566	23%	22	47	4,773	22%	68	43
魚沼	741	6%	23	36	601	9%	19	44	1,316	6%	41	34
上越	2,628	22%	56	47	610	9%	13	39	2,675	12%	57	39
佐渡	125	1%	9	32	74	1%	5	32	917	4%	66	42

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 15-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
新潟県		2,431,459	2,297,441	-6%	2,112,473	-13%	6%	0%	6%
下越	地方都市型	229,106	208,484	-9%	185,626	-19%	2%	-3%	-1%
新潟	地方都市型	932,555	908,528	-3%	855,268	-8%	10%	4%	15%
県央	地方都市型	241,408	226,861	-6%	207,003	-14%	7%	0%	7%
中越	地方都市型	475,873	448,978	-6%	412,810	-13%	5%	0%	5%
魚沼	過疎地域型	189,374	170,987	-10%	152,483	-19%	0%	-2%	-2%
上越	地方都市型	295,757	275,694	-7%	250,506	-15%	4%	-2%	2%
佐渡	過疎地域型	67,386	57,909	-14%	48,777	-28%	-5%	-11%	-16%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資\_図表 15-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
新潟県	139	5.7	46	131	5.7	48	-8	-6%	123
下越	14	6.1	47	17	8.2	54	3	21%	20
新潟	55	5.9	47	50	5.5	47	-5	-9%	45
県央	9	3.7	41	10	4.4	44	1	11%	11
中越	22	4.6	44	20	4.5	45	-2	-9%	18
魚沼	15	7.9	52	14	8.2	54	-1	-7%	13
上越	18	6.1	47	14	5.1	46	-4	-22%	10
佐渡	6	8.9	55	6	10.4	59	0	0%	6

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月  
<病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

15. 新潟県 (2016年版)

資\_図表 15-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
新潟県	1,719	71	47	1,687	73	47	-32	-2%	1,654
下越	163	71	48	153	73	47	-10	-6%	142
新潟	711	76	50	728	80	50	17	2%	747
県央	168	70	47	173	76	48	5	3%	179
中越	322	68	46	307	68	44	-15	-5%	291
魚沼	106	56	40	102	60	40	-4	-4%	98
上越	208	70	47	186	67	44	-22	-11%	162
佐渡	41	61	42	38	66	43	-3	-7%	35
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 15-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
新潟県	4,400	181	46	4,646	202	46	246	6%	4,917
下越	316	138	41	359	172	43	43	14%	406
新潟	2,214	237	53	2,419	266	52	205	9%	2,645
県央	335	139	41	312	138	39	-23	-7%	287
中越	750	158	44	786	175	43	36	5%	826
魚沼	230	121	39	204	119	37	-26	-11%	175
上越	461	156	43	471	171	42	10	2%	482
佐渡	94	139	41	95	164	42	1	1%	96
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 15-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
新潟県	31,894	131	48	29,851	130	50	-2,043	-6%	27,604
下越	2,618	114	45	2,658	127	49	40	2%	2,702
新潟	13,154	141	50	12,373	136	51	-781	-6%	11,514
県央	2,406	100	42	2,364	104	45	-42	-2%	2,318
中越	6,684	140	50	6,149	137	51	-535	-8%	5,561
魚沼	2,338	123	47	2,270	133	50	-68	-3%	2,195
上越	3,845	130	48	3,295	120	48	-550	-14%	2,690
佐渡	849	126	47	742	128	49	-107	-13%	624
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 15-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
新潟県	18,885	78	48	18,018	78	50	-867	-5%	17,064	81
下越	1,441	63	43	1,353	65	45	-88	-6%	1,256	68
新潟	7,658	82	49	7,340	81	51	-318	-4%	6,990	82
県央	1,615	67	44	1,543	68	46	-72	-4%	1,464	71
中越	3,826	80	49	3,691	82	51	-135	-4%	3,543	86
魚沼	1,388	73	46	1,301	76	49	-87	-6%	1,205	79
上越	2,454	83	50	2,296	83	52	-158	-6%	2,122	85
佐渡	503	75	47	494	85	52	-9	-2%	484	99
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 15-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
新潟県	5,581	19	43	4,977	14	44	-604	-11%	4,313	10
下越	408	14	40	545	15	45	137	34%	696	18
新潟	2,642	28	48	2,421	19	48	-221	-8%	2,178	13
県央	497	19	42	581	17	47	84	17%	673	16
中越	1,065	18	42	851	12	43	-214	-20%	616	7
魚沼	350	12	39	339	10	41	-11	-3%	327	9
上越	435	11	38	154	3	35	-281	-65%	-155	-3
佐渡	184	15	40	86	6	38	-98	-53%	-22	-2
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

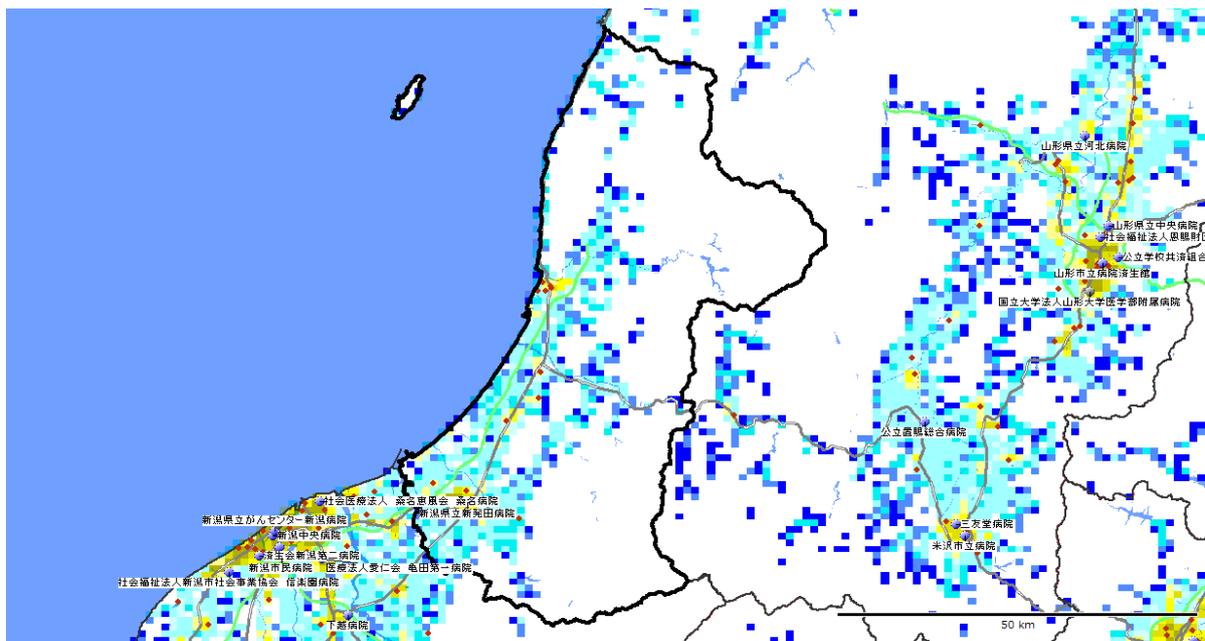
資\_図表 15-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
新潟県	336	52	0.962	131	52	0.974	180	52	0.952
下越	336	52	0.959	123	49	0.909	186	55	0.981
新潟	337	52	0.974	131	52	0.981	179	51	0.958
県央	330	51	0.936	126	50	0.925	179	51	0.941
中越	334	52	0.933	133	52	0.961	177	50	0.913
魚沼	287	41	0.843	112	45	0.852	157	38	0.852
上越	380	62	1.032	149	58	1.048	206	67	1.033
佐渡	336	52	0.932	141	55	1.013	173	48	0.887
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 15-1. かえつ 下越医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [新発田市](#) [村上市](#) [胎内市](#) [聖籠町](#)  
[関川村](#) [粟島浦村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (下越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 下越(新発田市)は、総人口約208千人(2015年推計)、面積2320km<sup>2</sup>、人口密度は90人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 下越の総人口は2025年に186千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に150千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には38千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 下越の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値52)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 下越の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.98で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。下越には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新潟県立新発田病院(II群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 下越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3617人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2918床(偏差値67)、高齢者住宅等が699床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2960人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム39、軽費ホーム54、グループホーム50、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、225人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

下越医療圏の総人口は、2005年229106人が、2015年に208484人と9%減少し、2025年の人口が185626人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

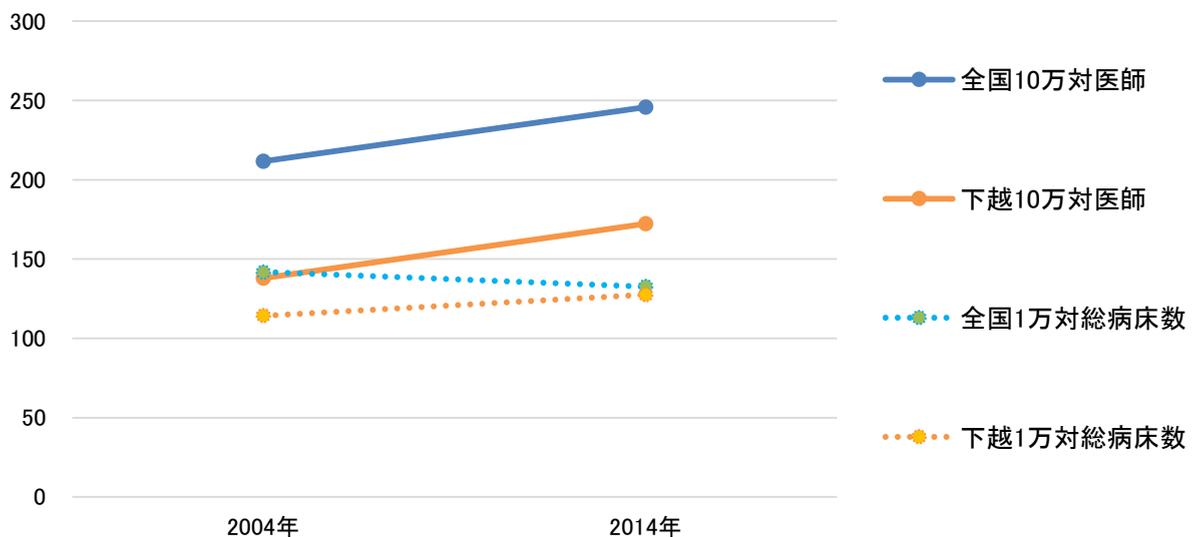
2004年の病院数が14(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に17(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が163(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に153(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が2618床(人口1万人当たり114(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に2658床(人口1万人当たり127(全国平均133)偏差値49)と、40床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

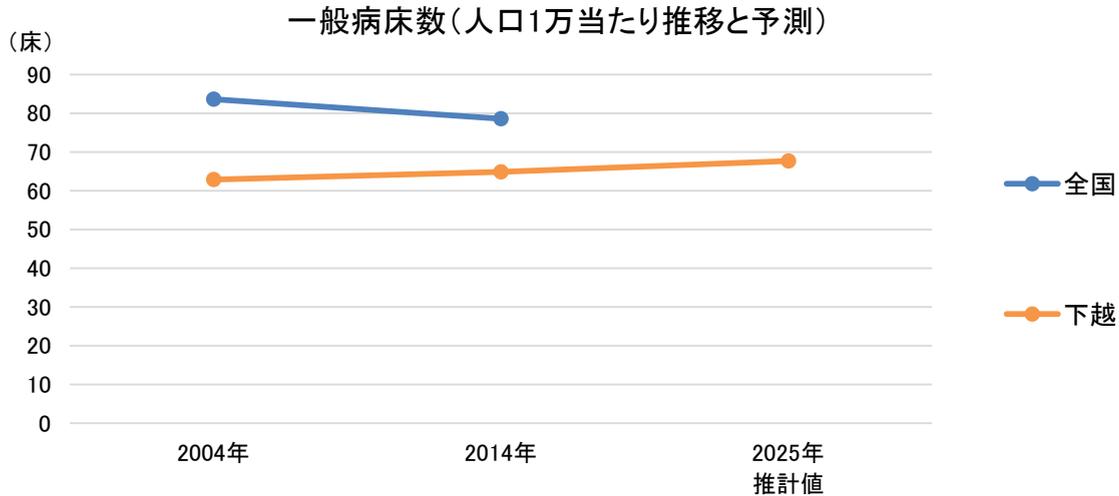
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が316人(人口10万人当たり138人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に359人(人口10万人当たり172人(全国平均246人)偏差値43)と、43人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



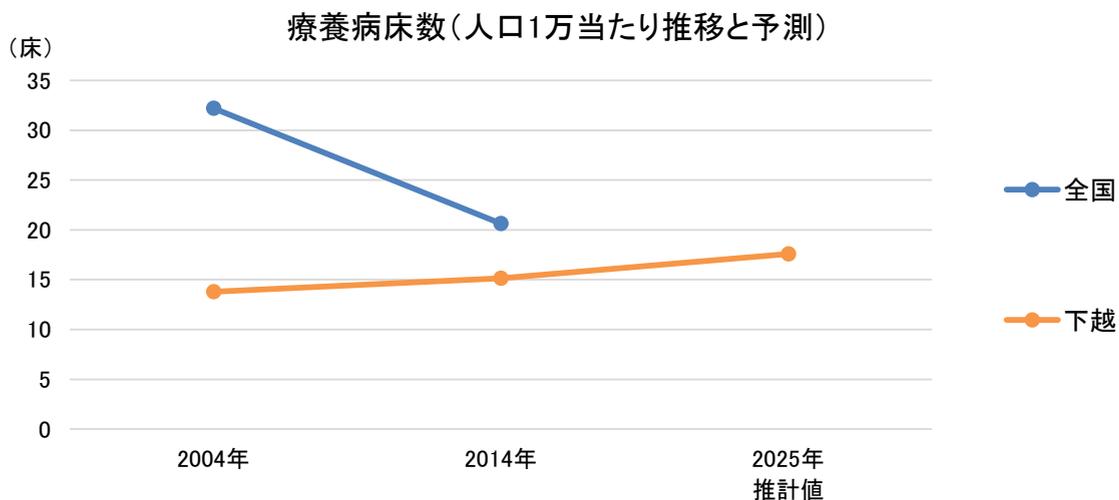
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1441床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1353床(人口1万人当たり65(全国平均79)偏差値45)と、88床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1256床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



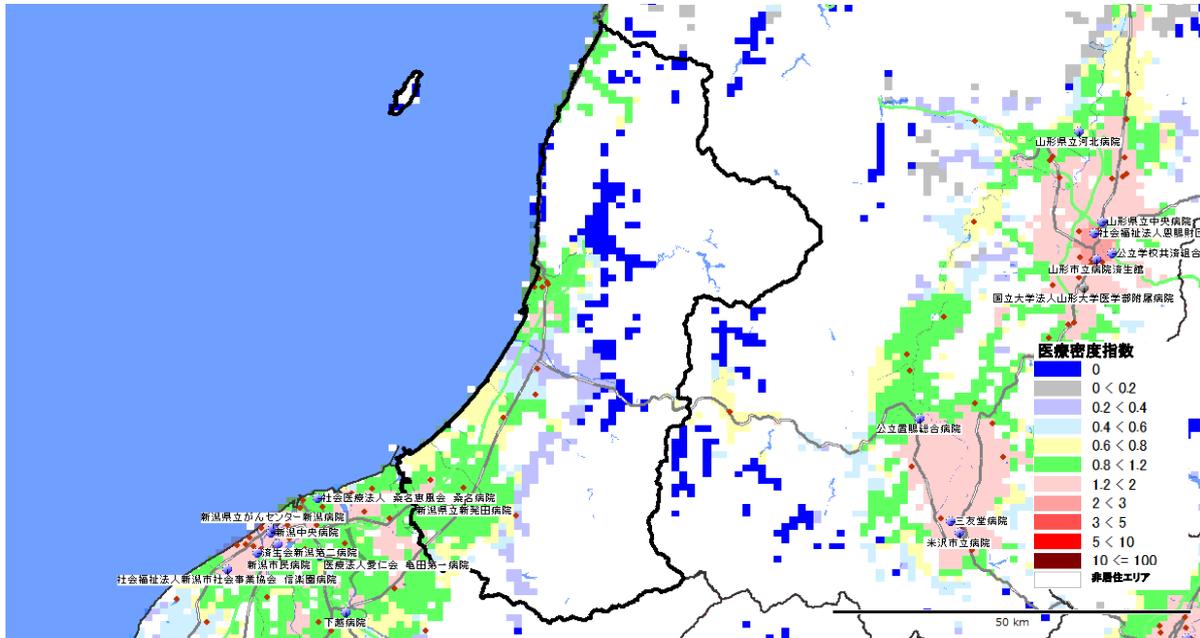
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が408床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に545床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、137床の増加、率にして34%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には696床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

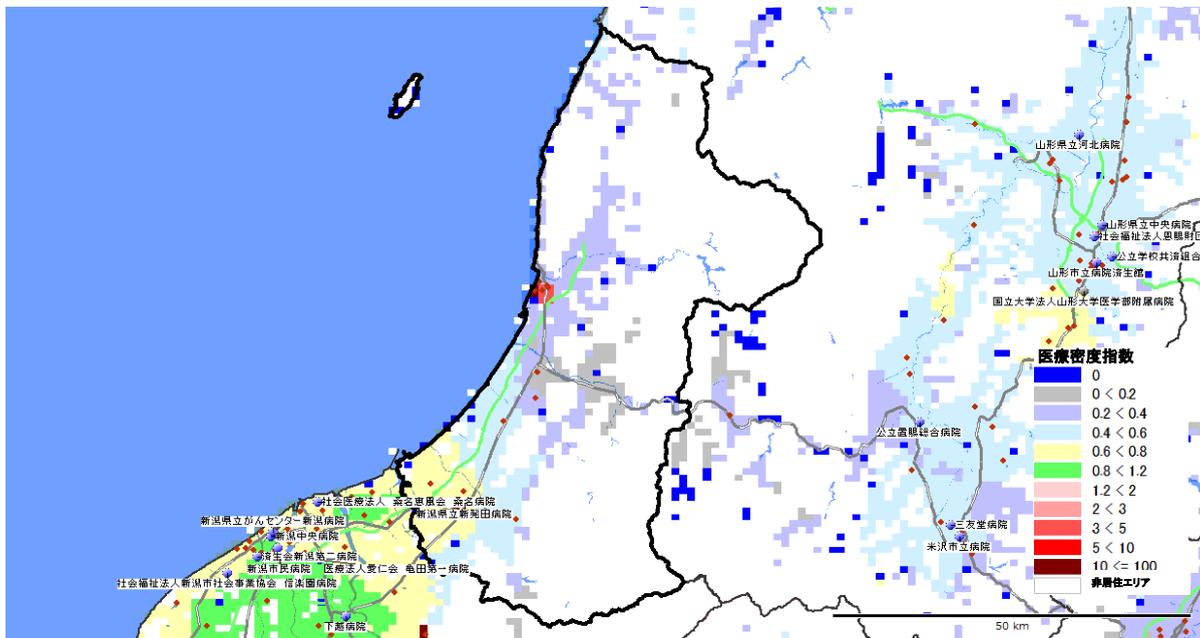


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-1-2 慢性期医療密度指数マップ

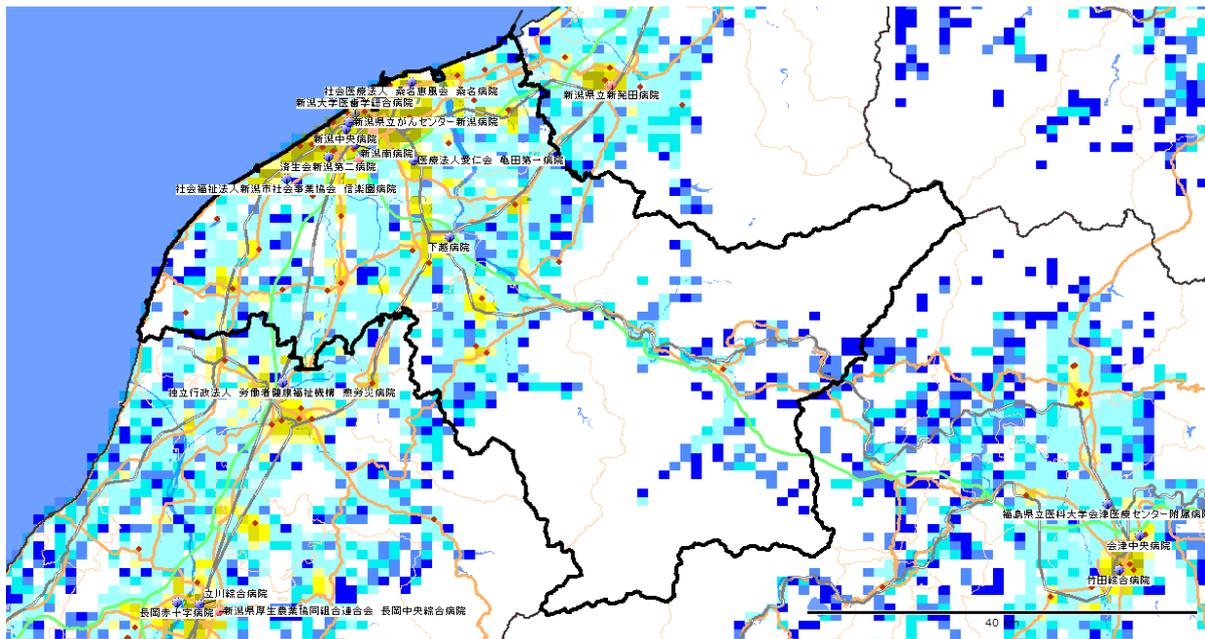


# 15-2. にいがた新潟医療圏

構成市区町村<sup>10</sup>

<a href="#">北区</a>	<a href="#">東区</a>	<a href="#">中央区</a>	<a href="#">江南区</a>
<a href="#">秋葉区</a>	<a href="#">南区</a>	<a href="#">西区</a>	<a href="#">西蒲区</a>
<a href="#">五泉市</a>	<a href="#">阿賀野市</a>	<a href="#">阿賀町</a>	

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （新潟医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 新潟（新潟市北区）は、総人口約909千人（2015年推計）、面積2224km<sup>2</sup>、人口密度は409人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 新潟の総人口は2025年に855千人へと減少し（2015年比-6%）、2040年に745千人へと減少する（2025年比-13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の128千人が、2025年にかけて163千人へと増加し（2015年比+27%）、2040年には169千人へと増加する（2025年比+4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 新潟の一人当たり医療費（国保）は330千円（偏差値53）、介護給付費は292千円（偏差値60）であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 新潟の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49（病院医師数50、診療所医師数48）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。新潟には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会新潟第二病院（Ⅲ群）、新潟県立がんセンター新潟病院（Ⅲ群）、新潟大学医歯学総合病院（Ⅰ群・救命）、新潟市民病院（Ⅱ群・救命）、500例以上の新潟医療センター（Ⅲ群）、亀田第一病院（Ⅲ群）、新潟中央病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 新潟の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、12753人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が10236床（偏差値66）、高齢者住宅等が2517床（偏差値37）である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、10660人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム41、軽費ホーム44、グループホーム41、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1244人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-20%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

新潟医療圏の総人口は、2005年932555人が、2015年に908528人と3%減少し、2025年の人口が855268人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

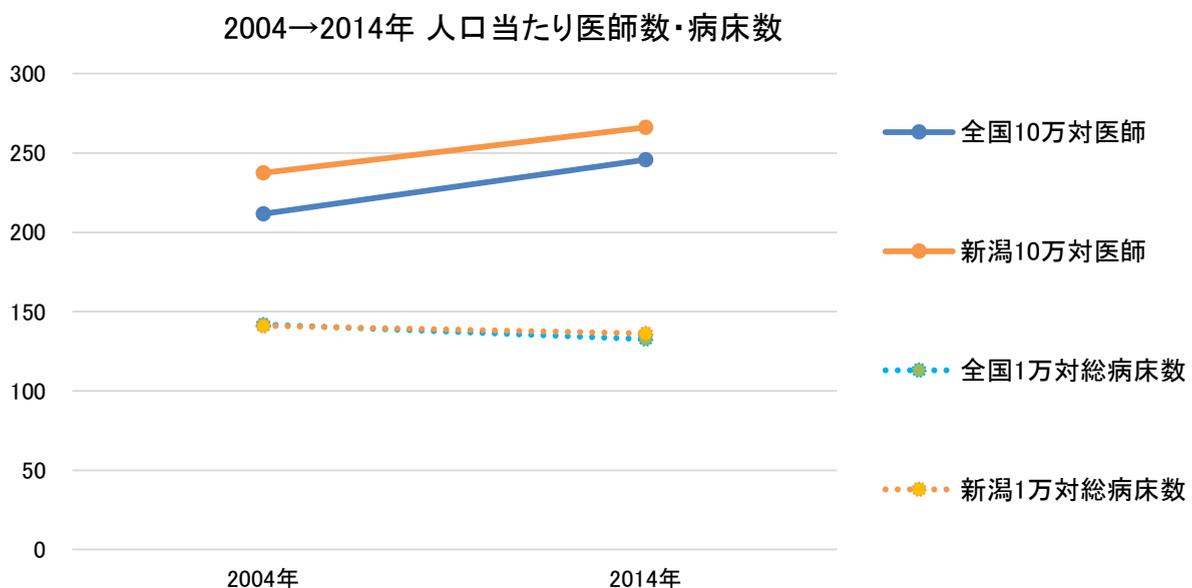
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が55(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に50(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が711(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に728(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、17診療所が増加した。

2004年の総病床数が13154床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に12373床(人口1万人当たり136(全国平均133)偏差値51)と、781床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

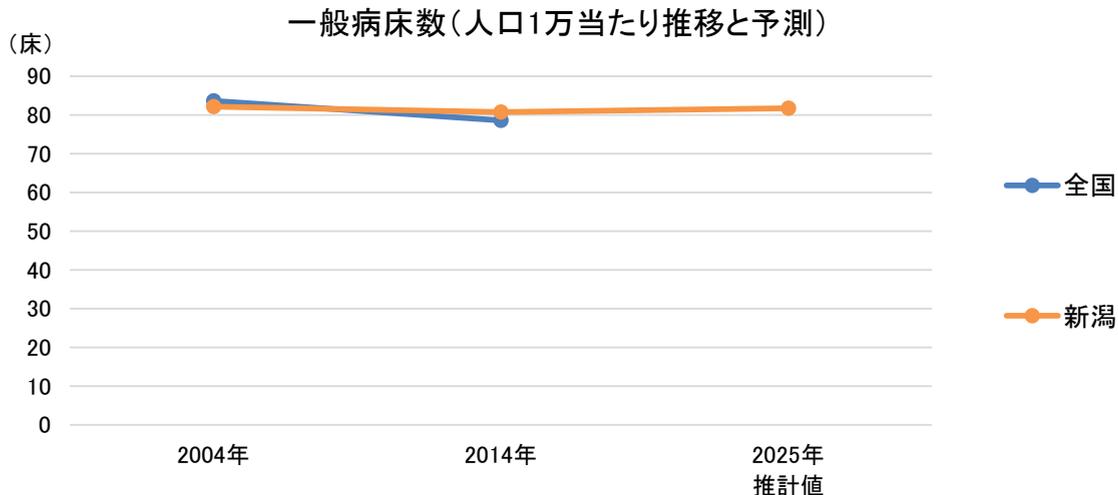
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2214人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に2419人(人口10万人当たり266人(全国平均246人)偏差値52)と、205人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 15. 新潟県（2016年版）

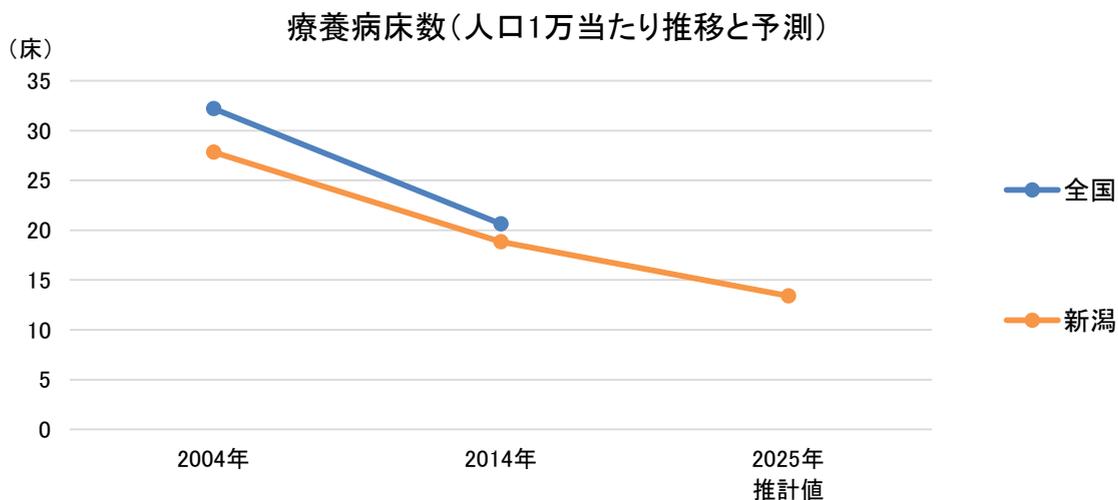
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7658床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に7340床(人口1万人当たり81(全国平均79)偏差値51)と、318床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6990床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



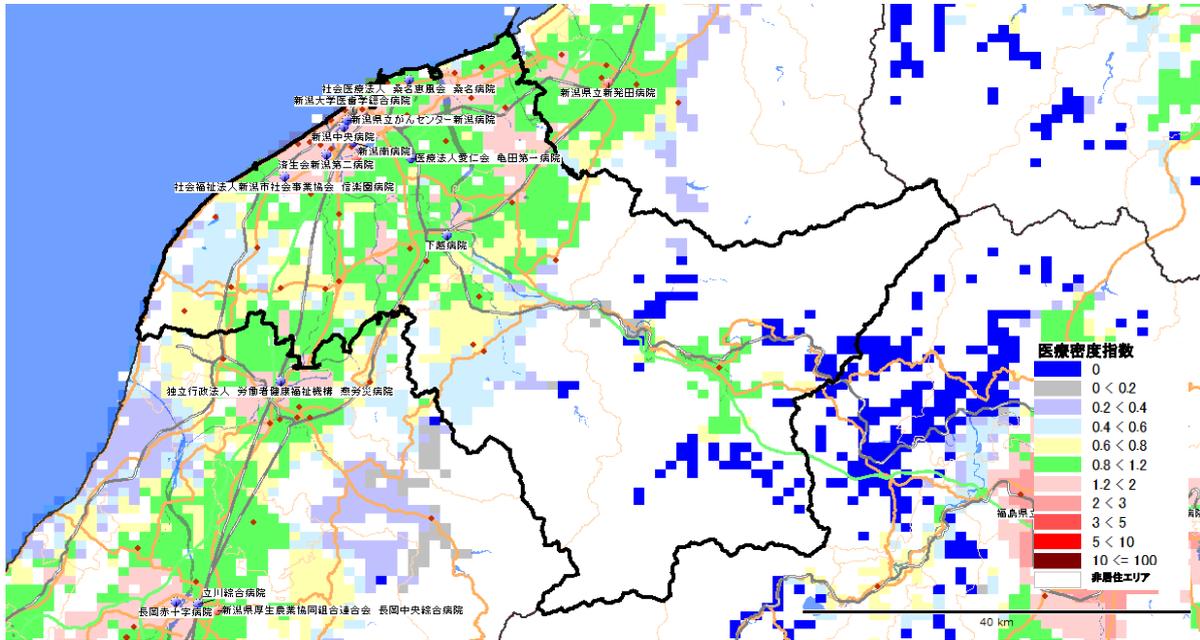
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2642床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に2421床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、221床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

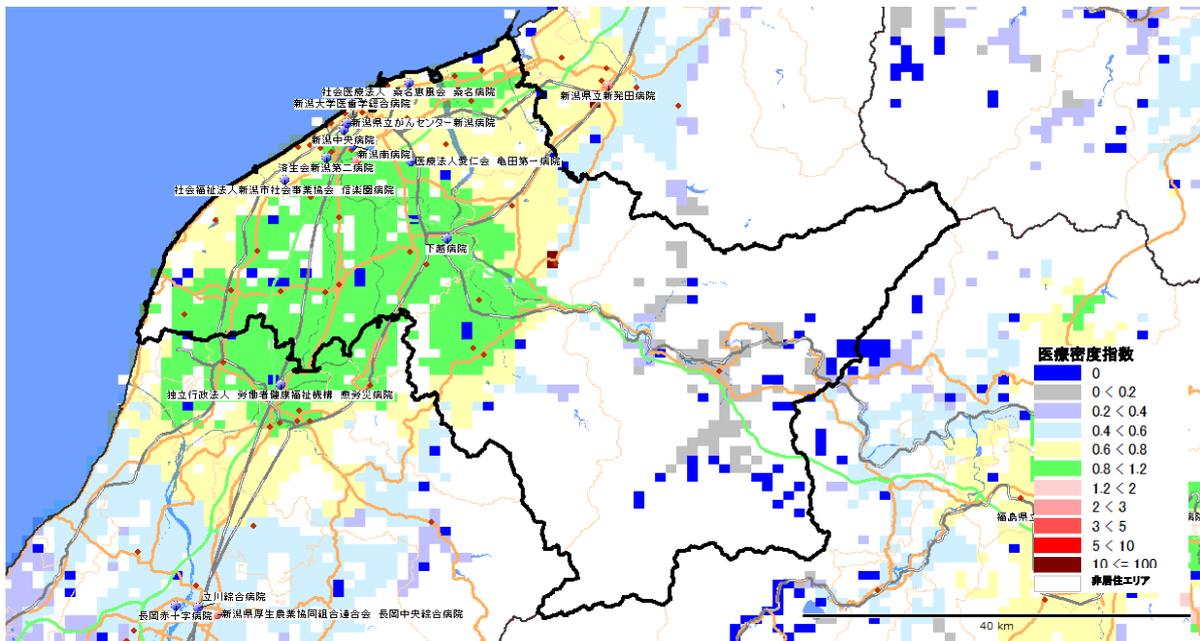


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-2-1 急性期医療密度指数マップ



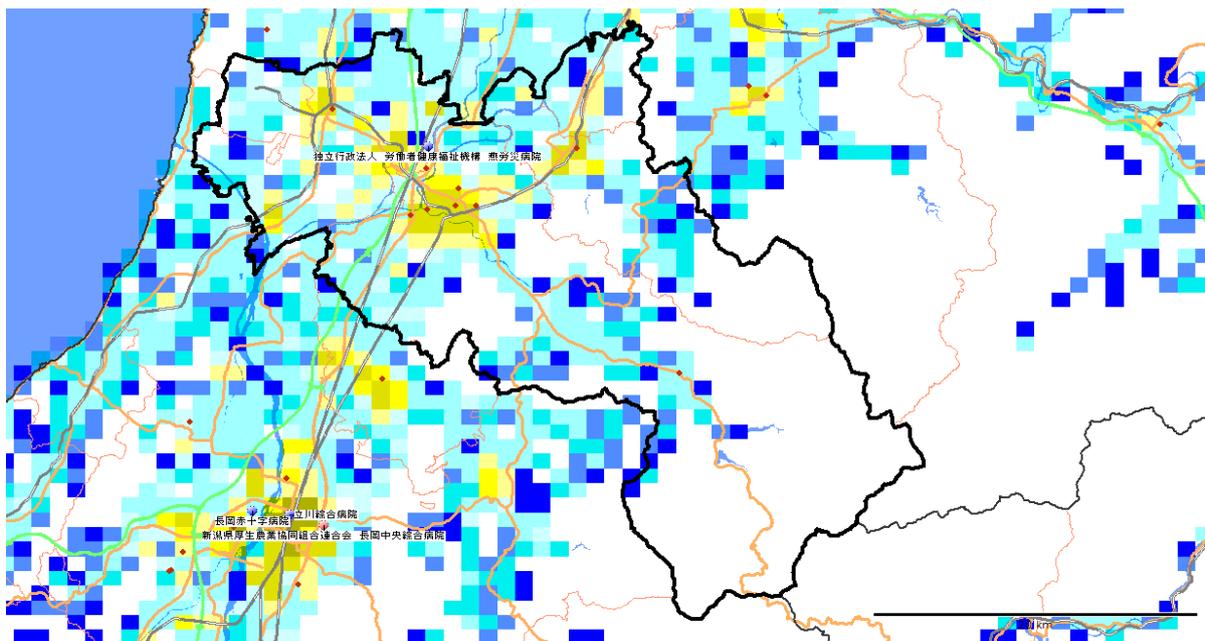
図表15-2-2 慢性期医療密度指数マップ



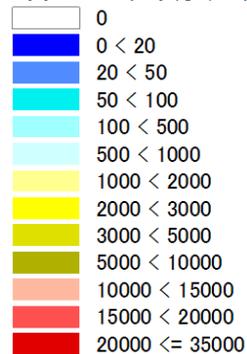
# 15-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [三条市](#) [加茂市](#) [燕市](#) [弥彦村](#)  
[田上町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(三条市)は、総人口約227千人(2015年推計)、面積734km<sup>2</sup>、人口密度は309人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に207千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に172千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて42千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値50)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.71で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数36、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。県央には、年間全身麻酔件数が500例以上の済生会三条病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3150人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2551床(偏差値61)、高齢者住宅等が599床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2852人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、250人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年241408人が、2015年に226861人と6%減少し、2025年の人口が207003人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

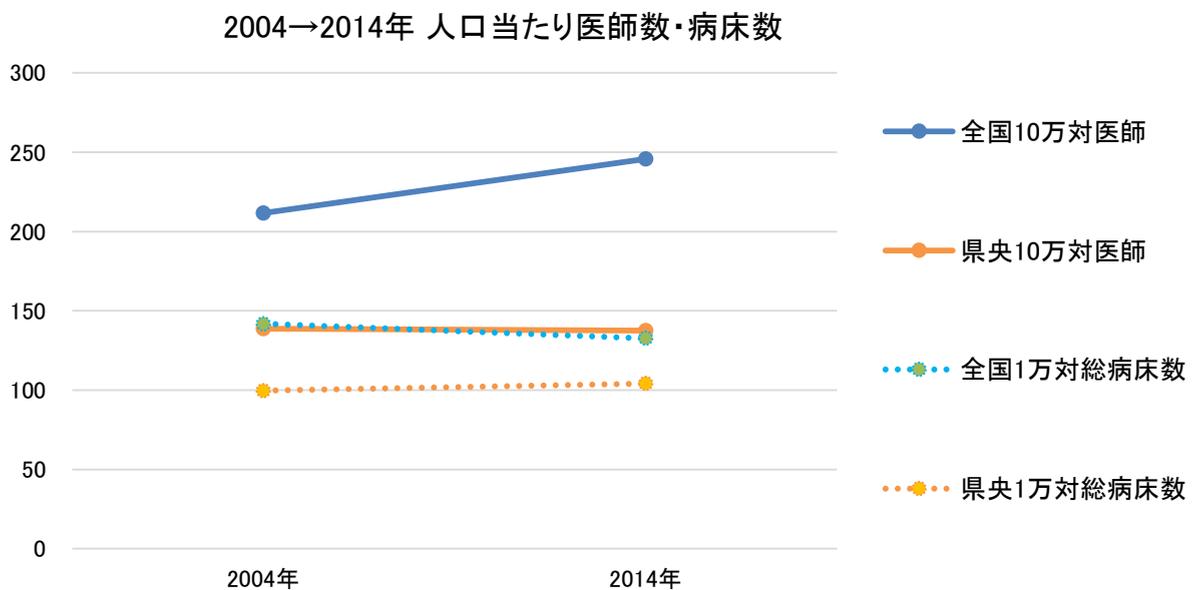
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に10(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が168(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に173(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、5診療所が増加した。

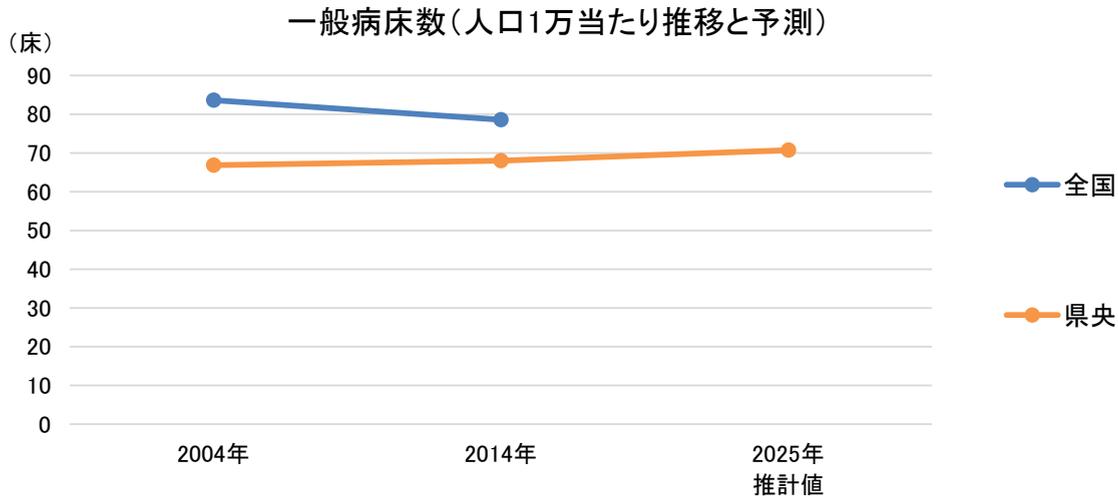
2004年の総病床数が2406床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に2364床(人口1万人当たり104(全国平均133)偏差値45)と、42床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が335人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に312人(人口10万人当たり138人(全国平均246人)偏差値39)と、23人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



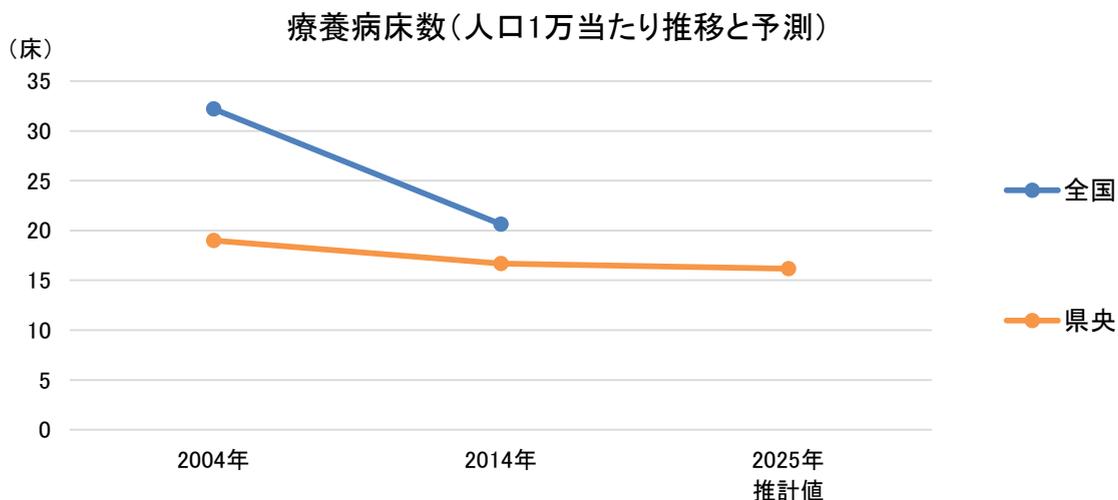
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1615床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に1543床(人口1万人当たり68(全国平均79)偏差値46)と、72床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1464床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



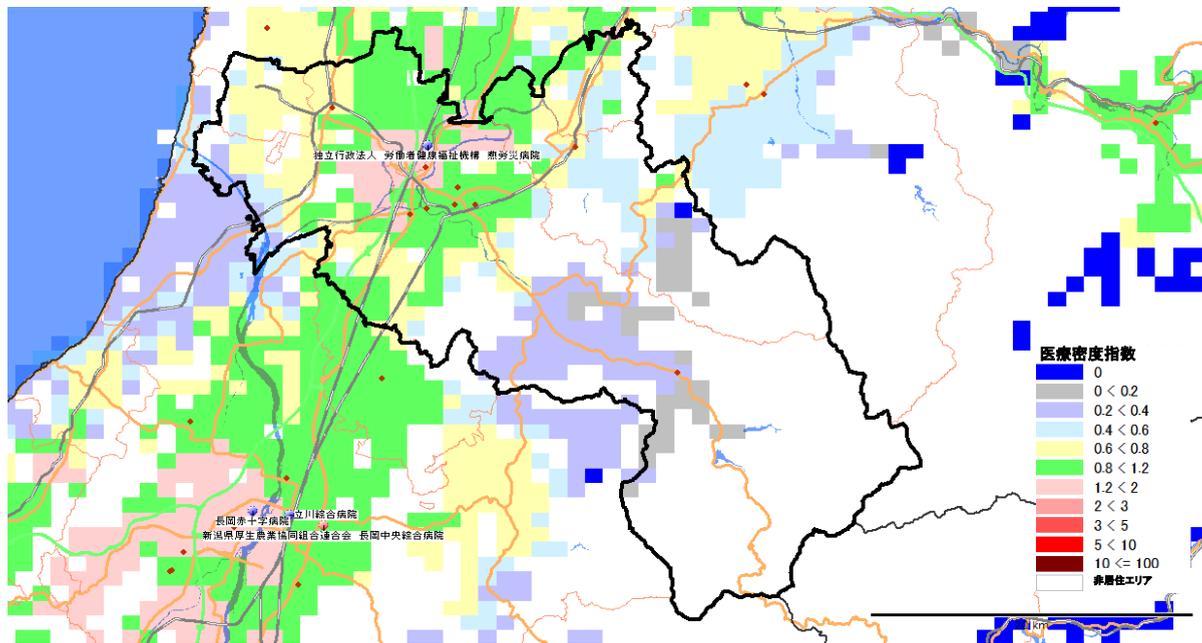
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が497床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に581床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、84床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には673床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

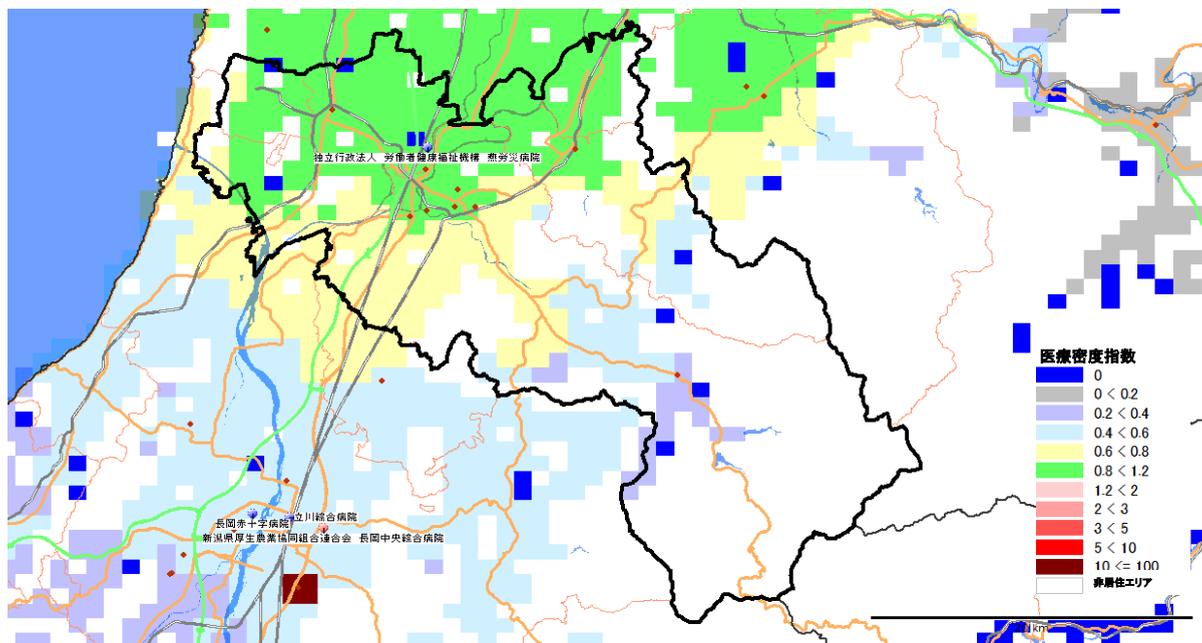


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-3-1 急性期医療密度指数マップ



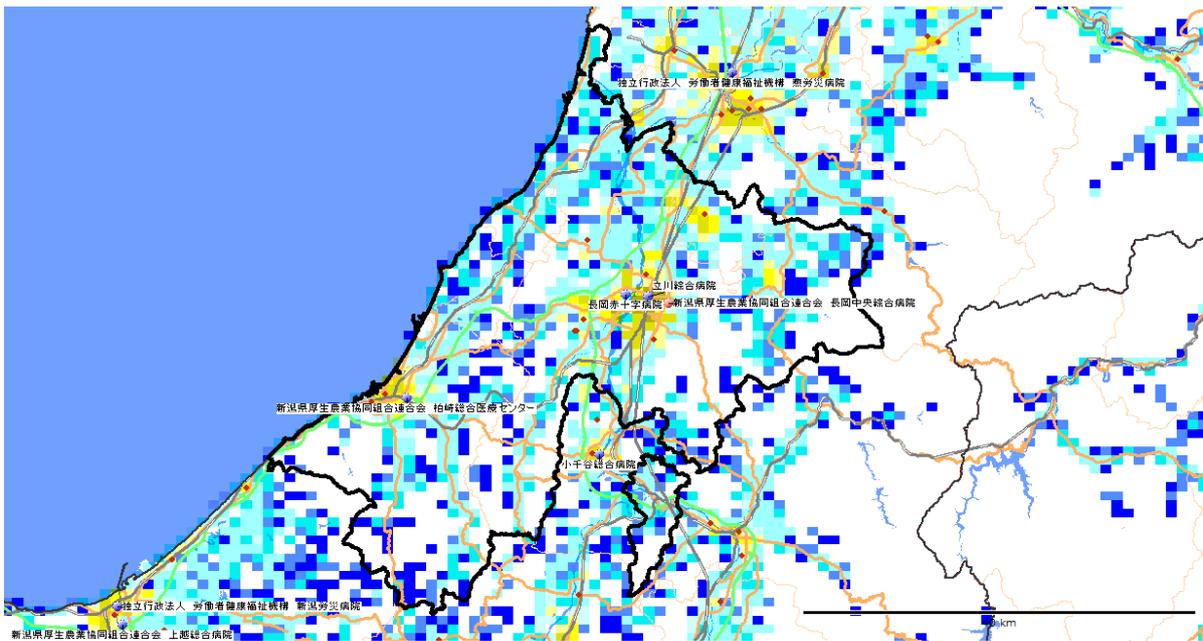
図表15-3-2 慢性期医療密度指数マップ



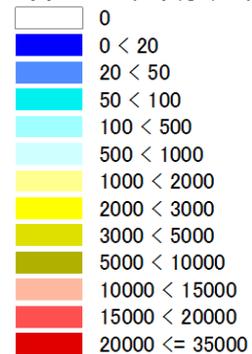
# 15-4. ちゅうえつ 中越医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [長岡市](#) [柏崎市](#) [見附市](#) [出雲崎町](#)  
[刈羽村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （中越医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 中越（長岡市）は、総人口約449千人（2015年推計）、面積1637km<sup>2</sup>、人口密度は274人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中越の総人口は2025年に413千人へと減少し（2015年比－8%）、2040年に350千人へと減少する（2025年比－15%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の71千人が、2025年にかけて83千人へと増加し（2015年比＋17%）、2040年には82千人へと減少する（2025年比－1%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中越の一人当たり医療費（国保）は325千円（偏差値52）、介護給付費は282千円（偏差値58）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 中越の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42（病院医師数44、診療所医師数40）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。中越には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長岡赤十字病院（Ⅲ群・救命）、長岡中央総合病院（Ⅱ群）、1000例以上の立川総合病院（Ⅲ群）、500例以上の柏崎総合医療センター（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 中越の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、7054人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4914床（偏差値58）、高齢者住宅等が2140床（偏差値44）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、5684人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム46、軽費ホーム45、グループホーム48、サ高住45である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員（在宅）の合計は、464人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

中越医療圏の総人口は、2005年475873人が、2015年に448978人と6%減少し、2025年の人口が412810人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

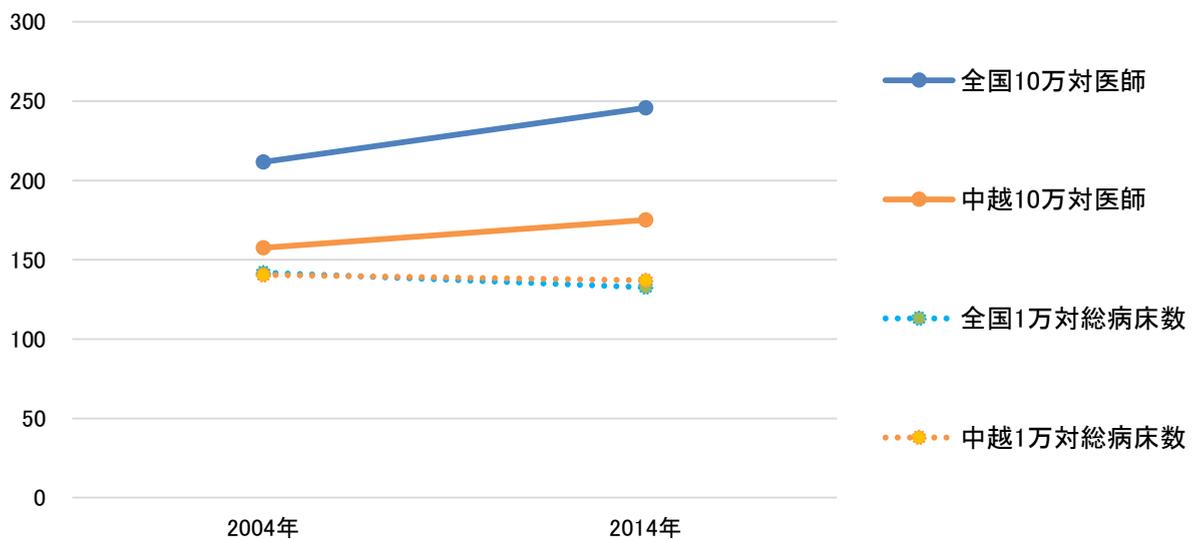
2004年の病院数が22(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に20(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が322(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に307(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が6684床(人口1万人当たり140(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に6149床(人口1万人当たり137(全国平均133)偏差値51)と、535床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

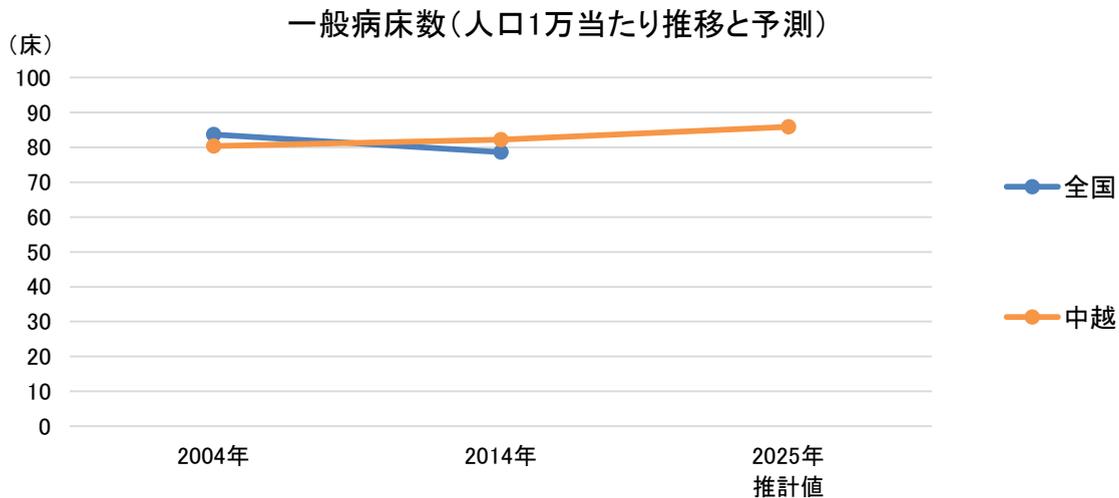
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が750人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に786人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、36人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



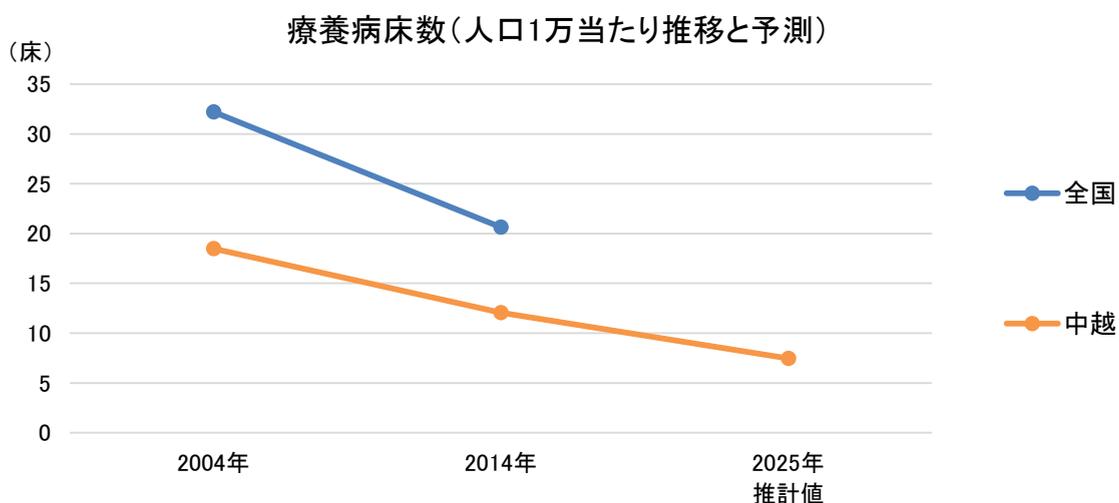
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3826床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に3691床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、135床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3543床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



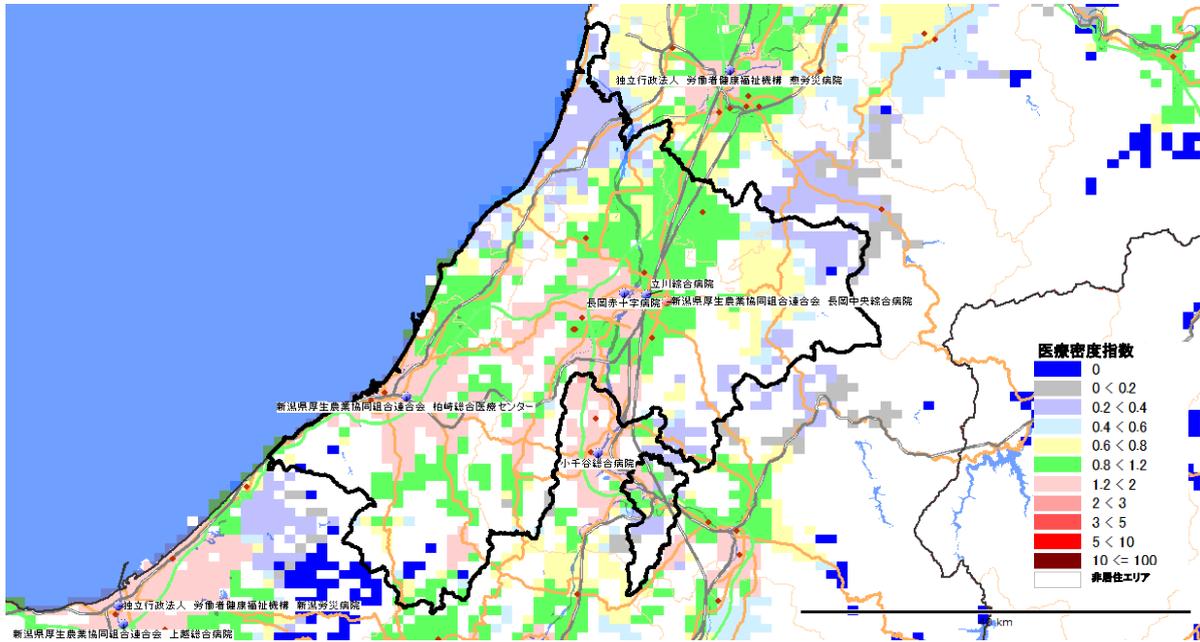
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1065床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に851床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、214床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には616床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

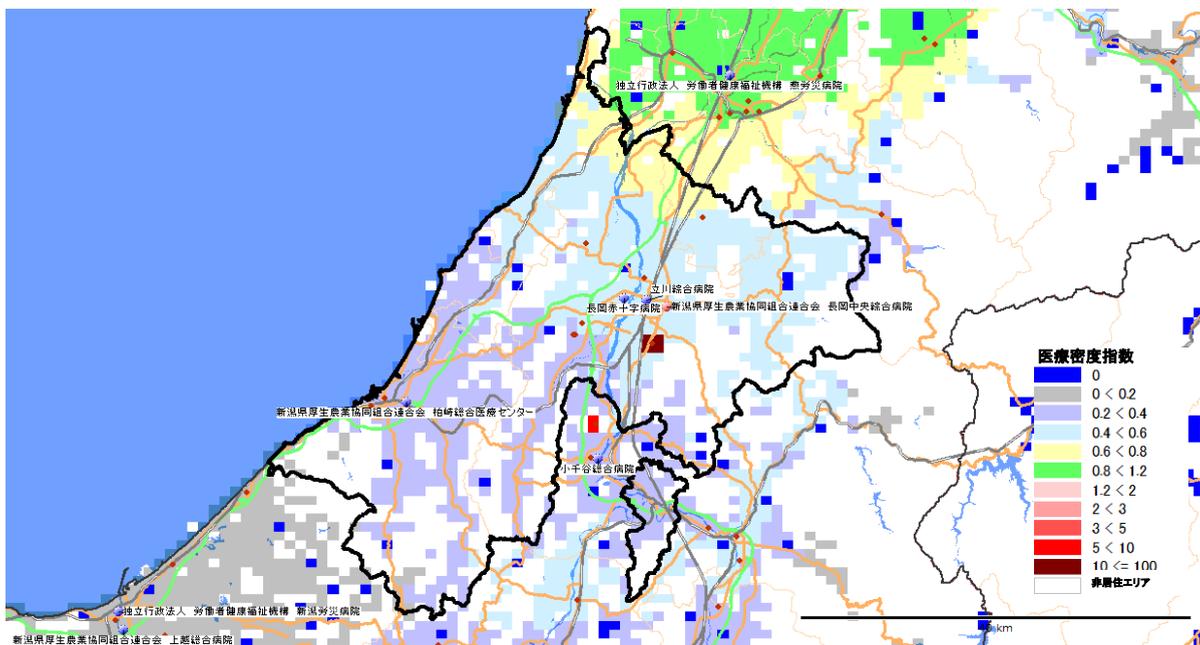


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-4-1 急性期医療密度指数マップ



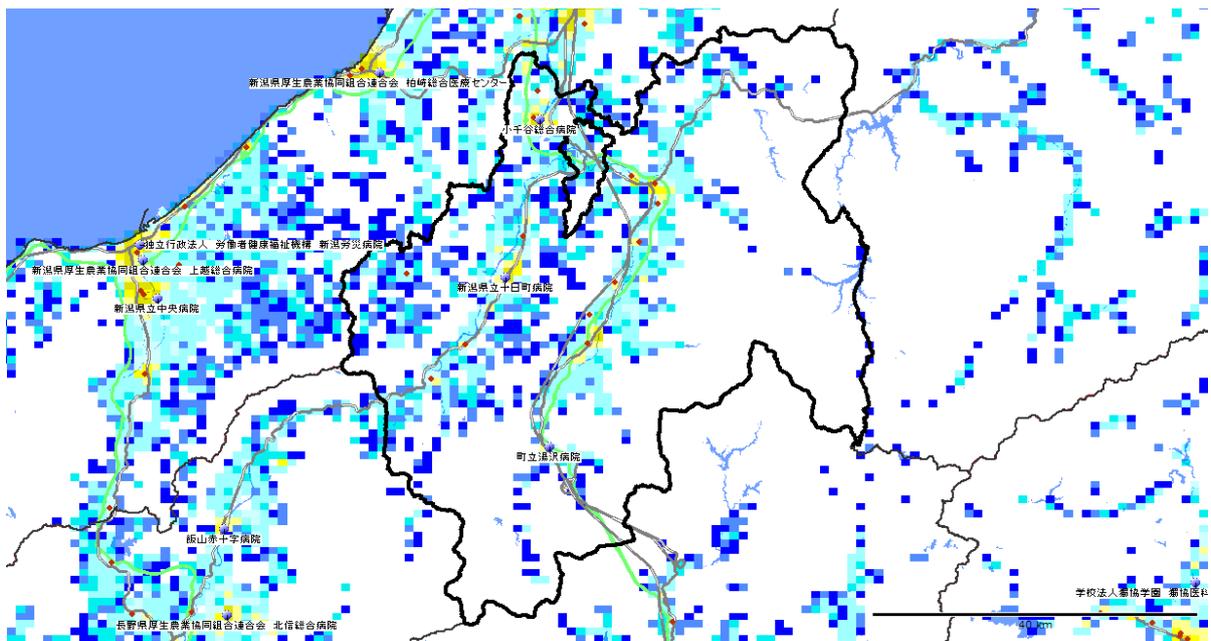
図表15-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 15-5. うおぬま 魚沼医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [小千谷市](#) [十日町市](#) [魚沼市](#) [南魚沼市](#)  
[湯沢町](#) [津南町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (魚沼医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 魚沼(十日町市)は、総人口約171千人(2015年推計)、面積2649km<sup>2</sup>、人口密度は65人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 魚沼の総人口は2025年に152千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に125千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の32千人が、2025年にかけて35千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には35千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 魚沼の一人当たり医療費(国保)は284千円(偏差値41)、介護給付費は305千円(偏差値64)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 魚沼の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が37(病院医師数39、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。魚沼には、年間全身麻酔件数が500例以上の新潟県立十日町病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 魚沼の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2982人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2294床(偏差値59)、高齢者住宅等が688床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2596人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム38、軽費ホーム55、グループホーム49、サ高住40である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、180人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

魚沼医療圏の総人口は、2005年189374人が、2015年に170987人と10%減少し、2025年の人口が152483人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

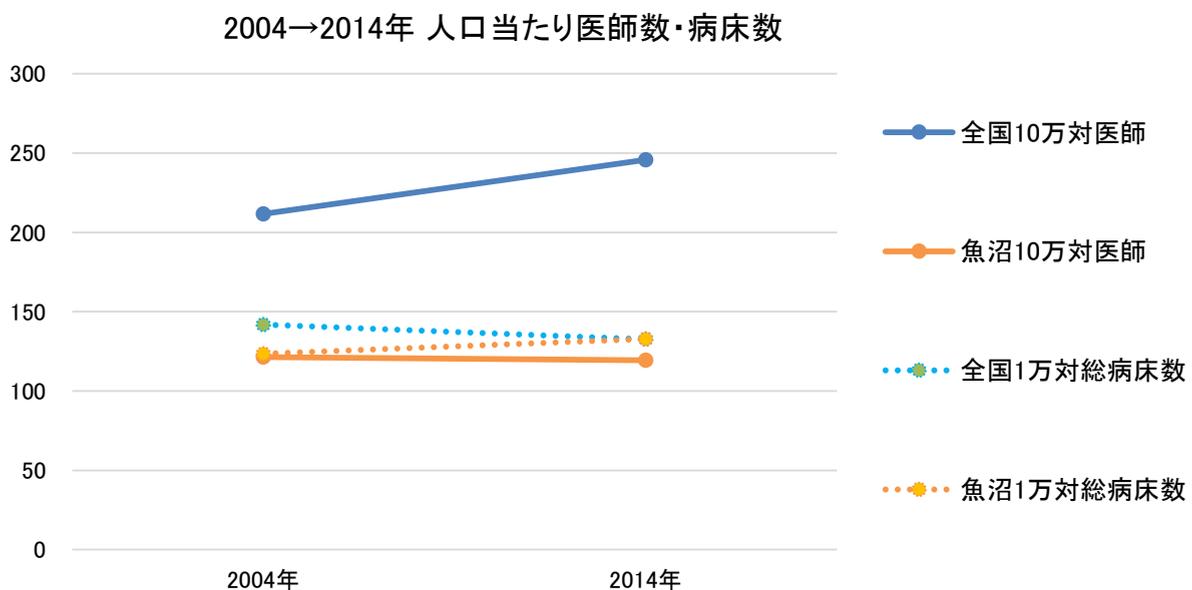
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に14(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が106(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に102(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、4診療所が減少した。

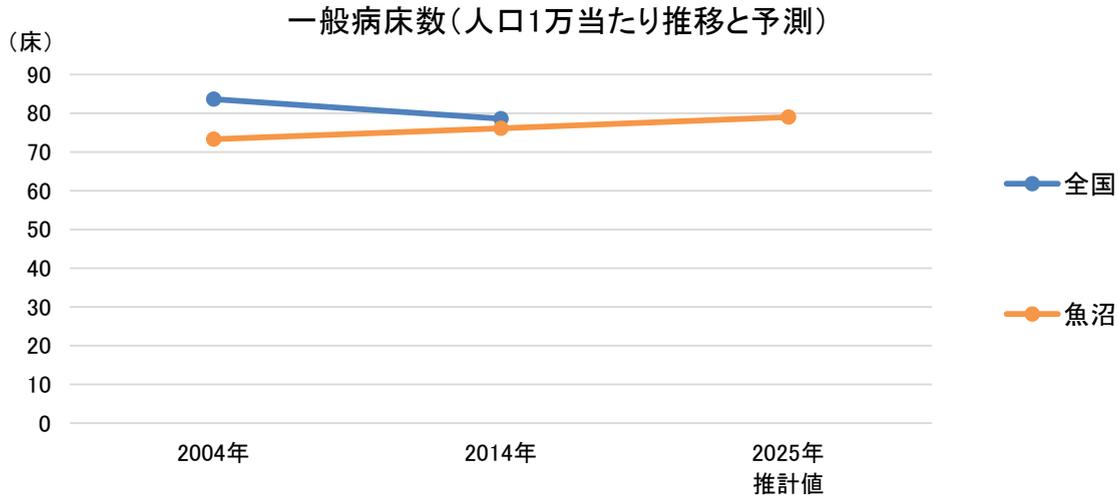
2004年の総病床数が2338床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に2270床(人口1万人当たり133(全国平均133)偏差値50)と、68床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が230人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に204人(人口10万人当たり119人(全国平均246人)偏差値37)と、26人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



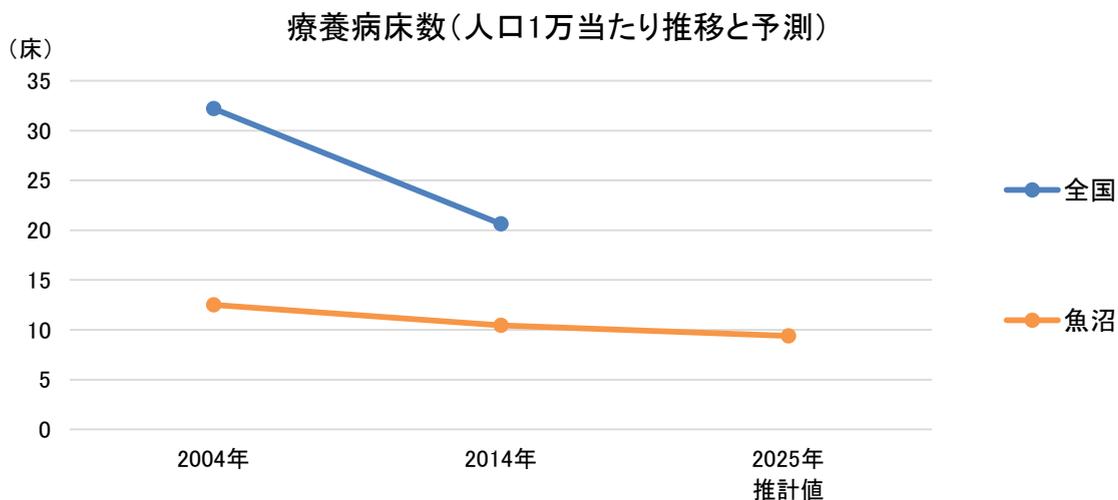
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1388床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に1301床(人口1万人当たり76(全国平均79)偏差値49)と、87床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1205床(2025年の推計人口1万人当たり79)になることが予想される。



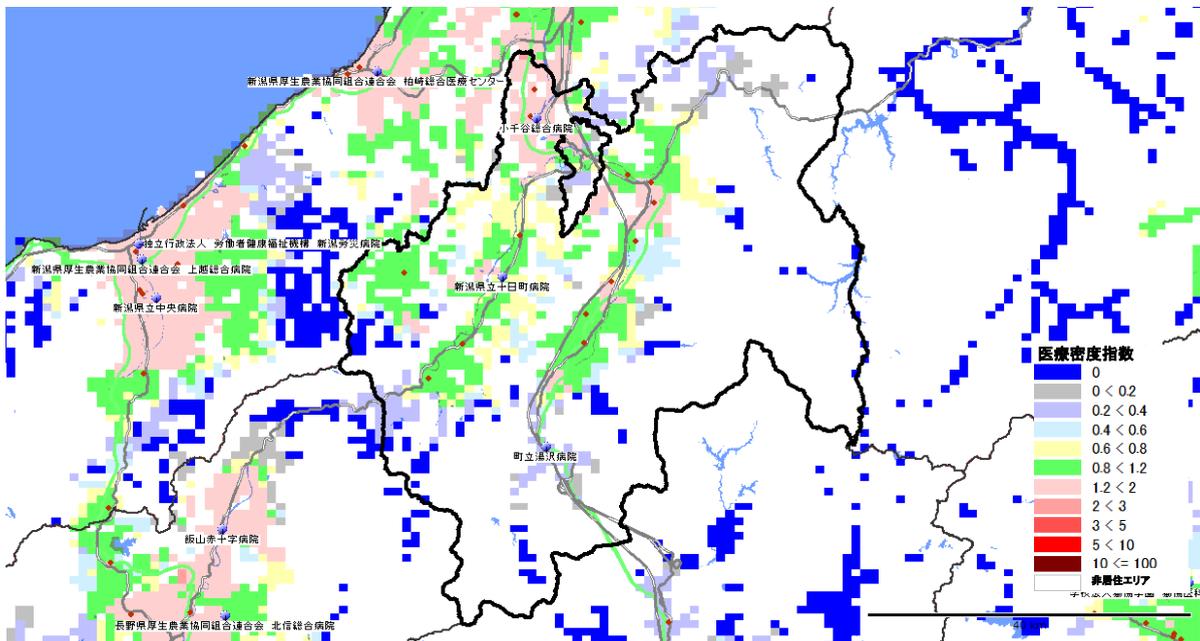
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が350床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に339床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、11床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には327床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

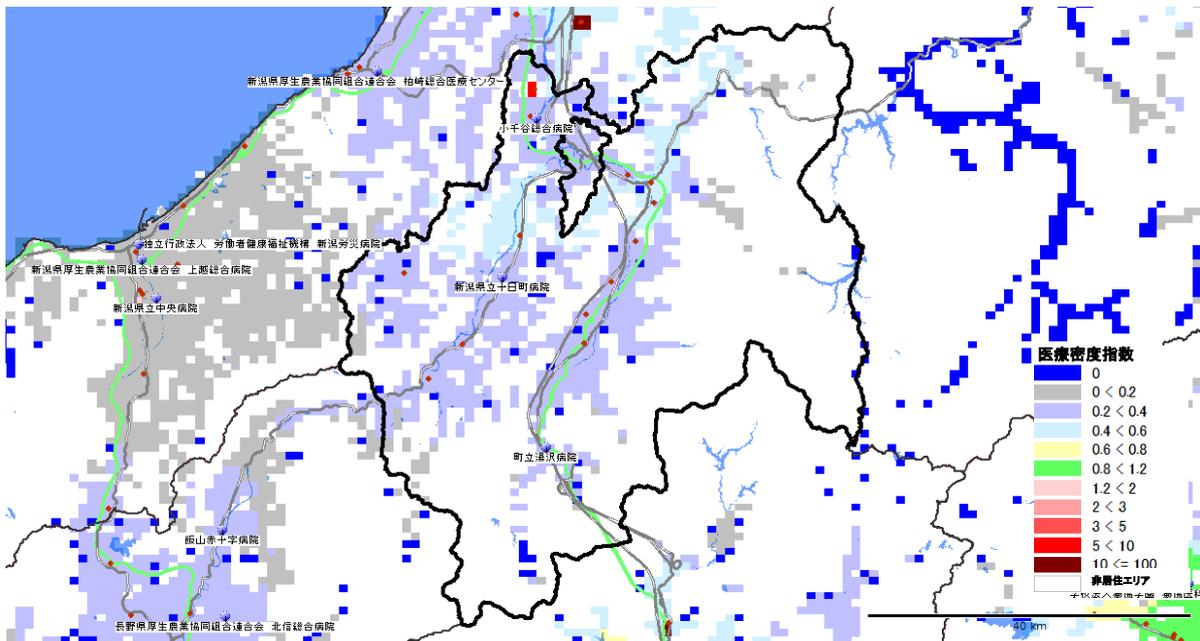


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-5-1 急性期医療密度指数マップ



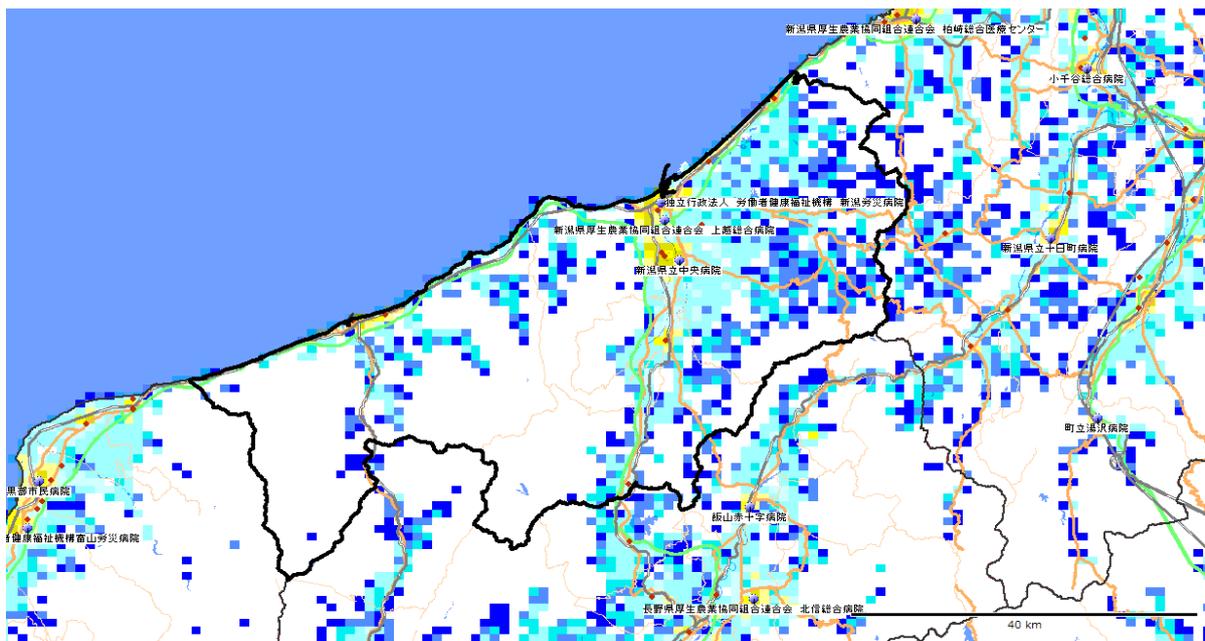
図表15-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 15-6. じょうえつ 上越医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [糸魚川市](#) [妙高市](#) [上越市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （上越医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 上越(糸魚川市)は、総人口約276千人(2015年推計)、面積2165km<sup>2</sup>、人口密度は127人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 上越の総人口は2025年に251千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に210千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて53千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には50千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 上越の一人当たり医療費(国保)は373千円(偏差値63)、介護給付費は327千円(偏差値70)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 上越の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.72で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。上越には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新潟県立中央病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の上越総合病院(Ⅲ群)、新潟労災病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 上越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5239人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3827床(偏差値68)、高齢者住宅等が1412床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4428人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム43、軽費ホーム49、グループホーム54、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、380人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

上越医療圏の総人口は、2005年295757人が、2015年に275694人と7%減少し、2025年の人口が250506人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

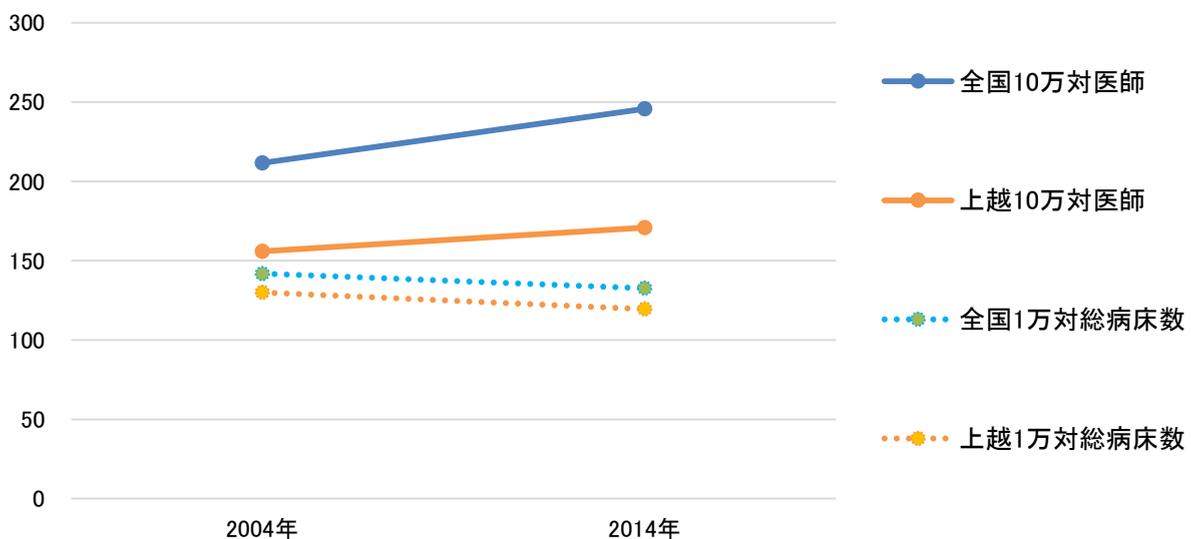
2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に14(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が208(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に186(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、22診療所が減少した。

2004年の総病床数が3845床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に3295床(人口1万人当たり120(全国平均133)偏差値48)と、550床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が461人(人口10万人当たり156人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に471人(人口10万人当たり171人(全国平均246人)偏差値42)と、10人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

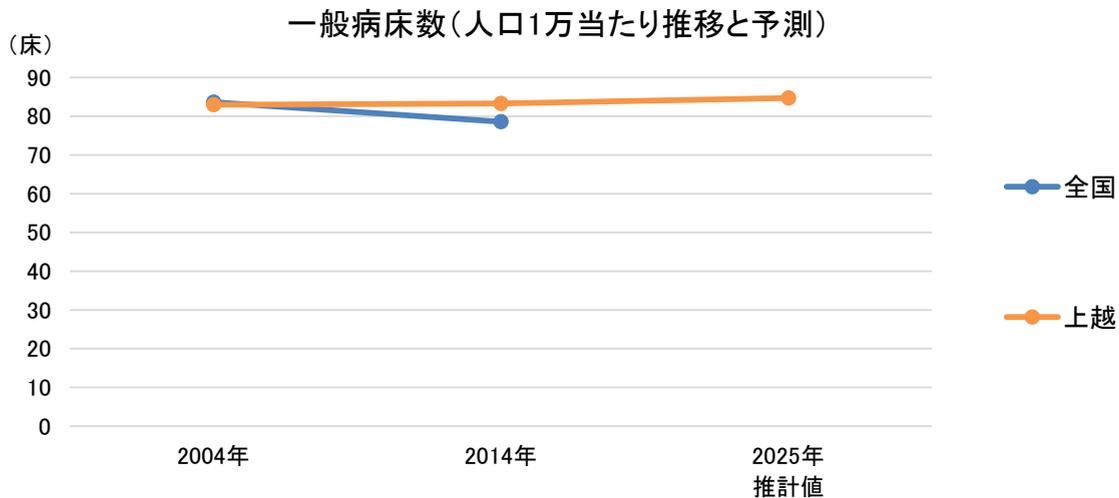
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 15. 新潟県（2016年版）

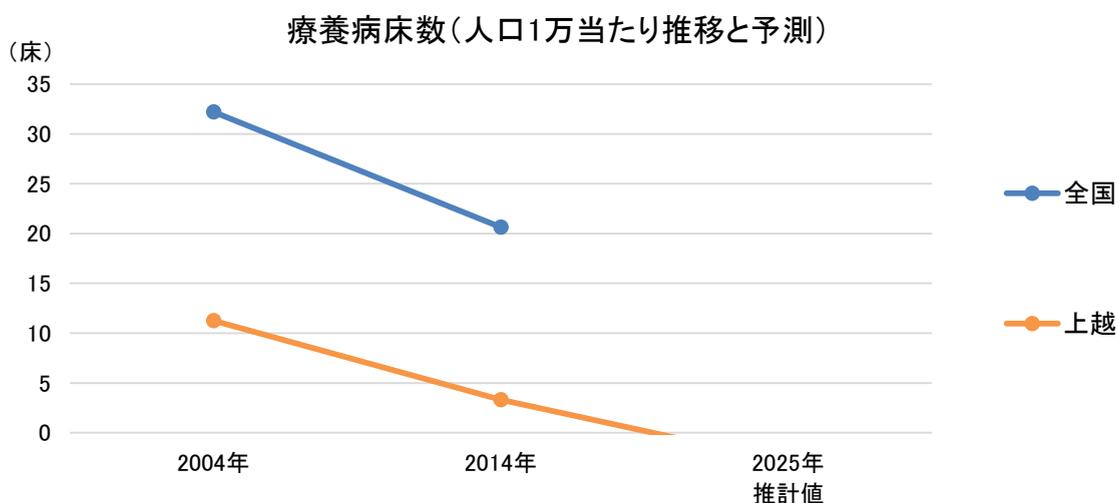
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2454床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に2296床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値52)と、158床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2122床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



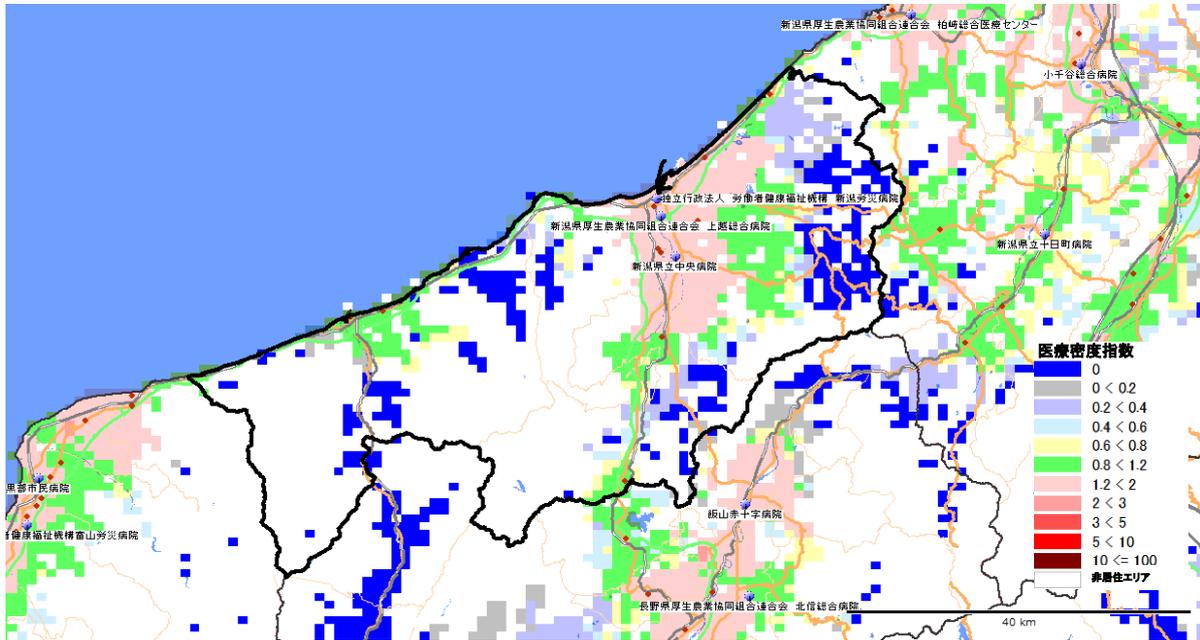
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が435床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に154床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値35)と、281床の減少、率にして65%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-155床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-3)になることが予想される。

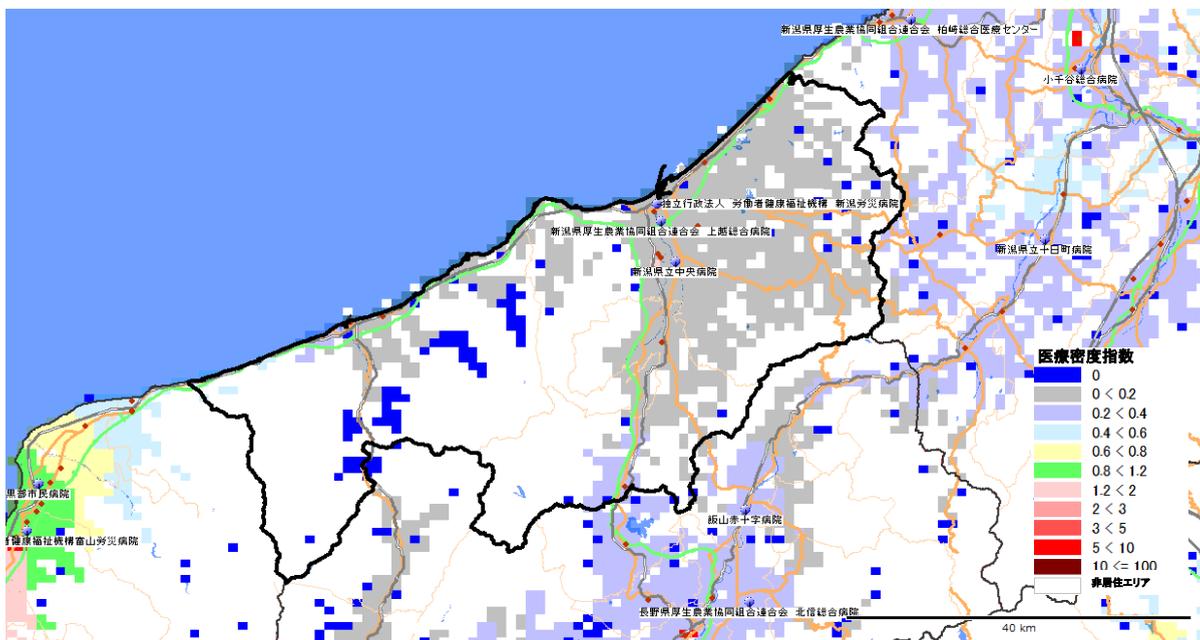


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-6-1 急性期医療密度指数マップ



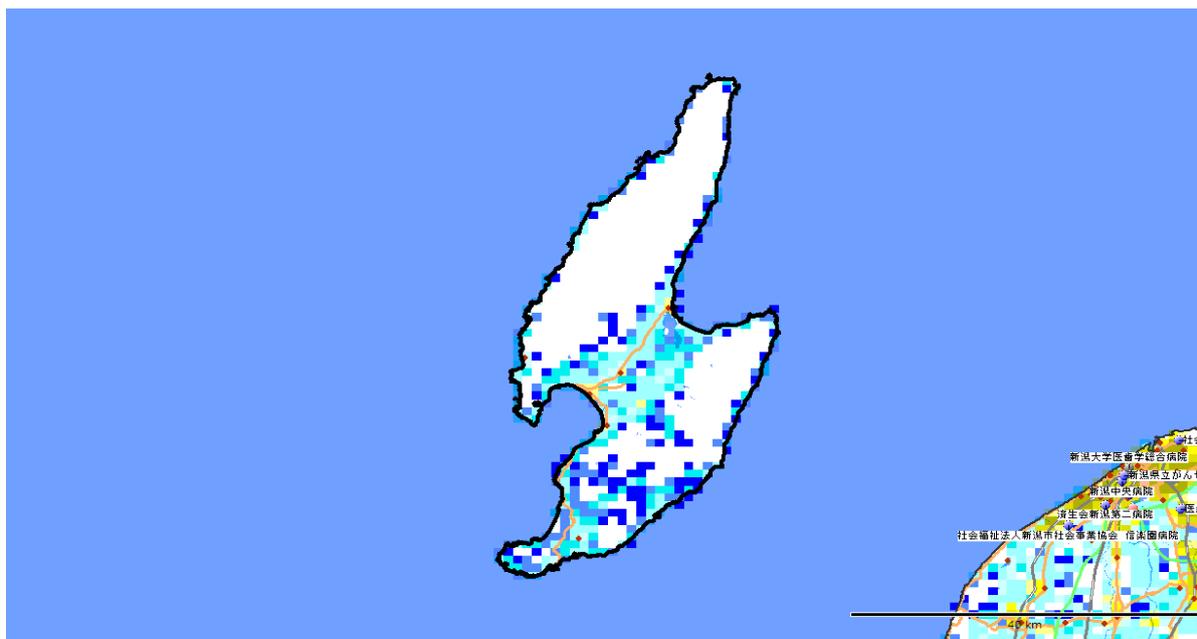
図表15-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# 15-7. 佐渡医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [佐渡市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (佐渡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 佐渡(佐渡市)は、総人口約58千人(2015年推計)、面積855km<sup>2</sup>、人口密度は68人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 佐渡の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて13千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 佐渡の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値52)、介護給付費は309千円(偏差値65)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 佐渡の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.95で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数45、診療所医師数34)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。佐渡には、年間全身麻酔件数が500例以上の佐渡総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 佐渡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1232人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1090床(偏差値65)、高齢者住宅等が142床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1003人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値26と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、148人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

佐渡医療圏の総人口は、2005年67386人が、2015年に57909人と14%減少し、2025年の人口が48777人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて11%程度の減少が予測される。

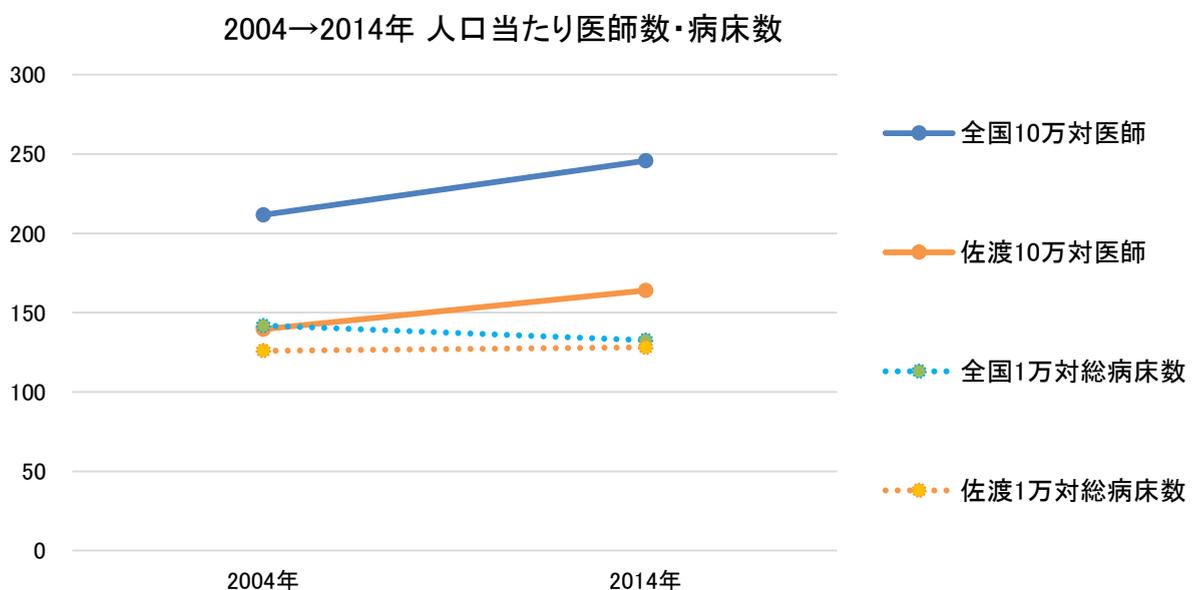
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.4病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に38(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、3診療所が減少した。

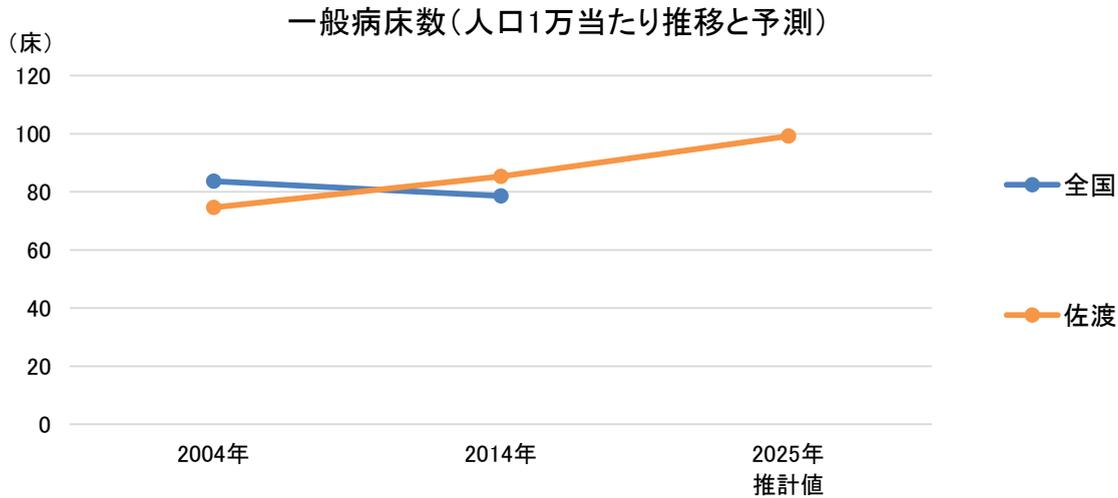
2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に742床(人口1万人当たり128(全国平均133)偏差値49)と、107床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が94人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に95人(人口10万人当たり164人(全国平均246人)偏差値42)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



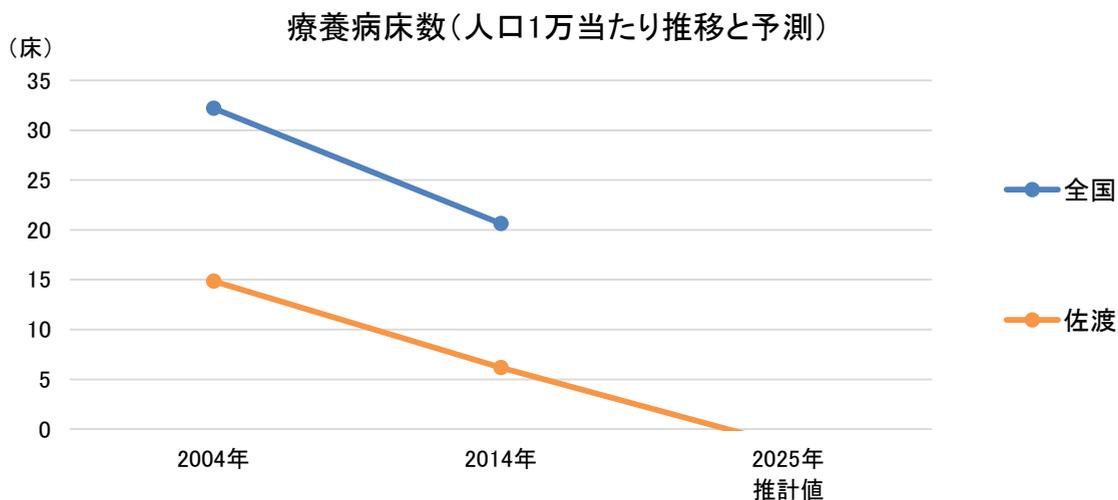
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が503床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に494床(人口1万人当たり85(全国平均79)偏差値52)と、9床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には484床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



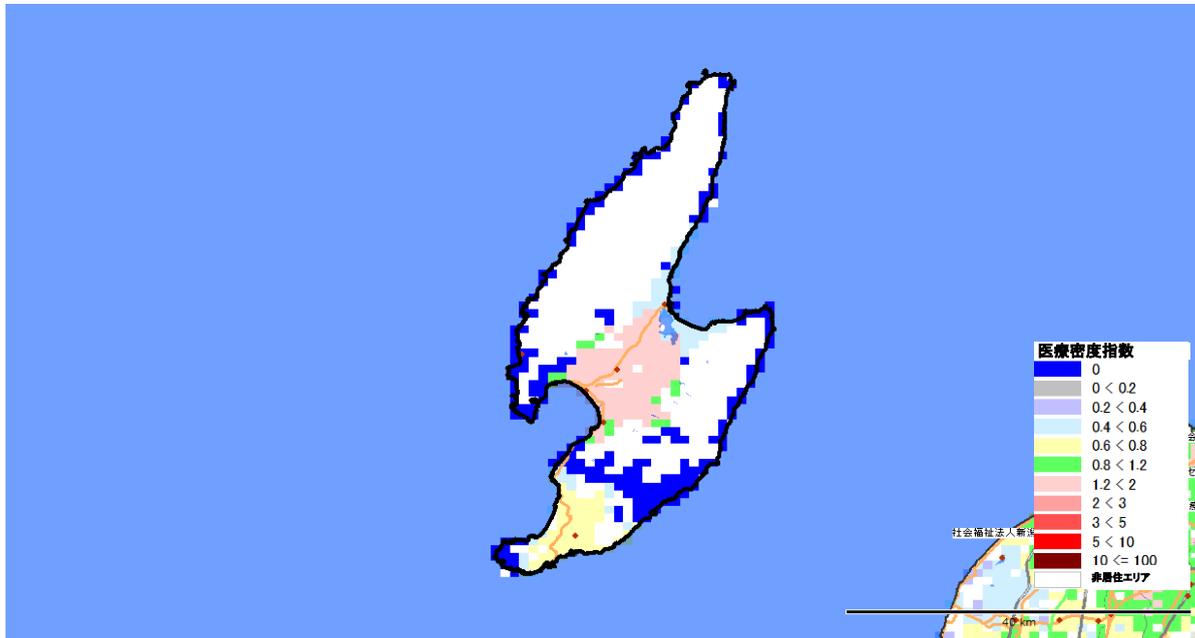
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が184床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に86床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値38)と、98床の減少、率にして53%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-22床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-2)になることが予想される。

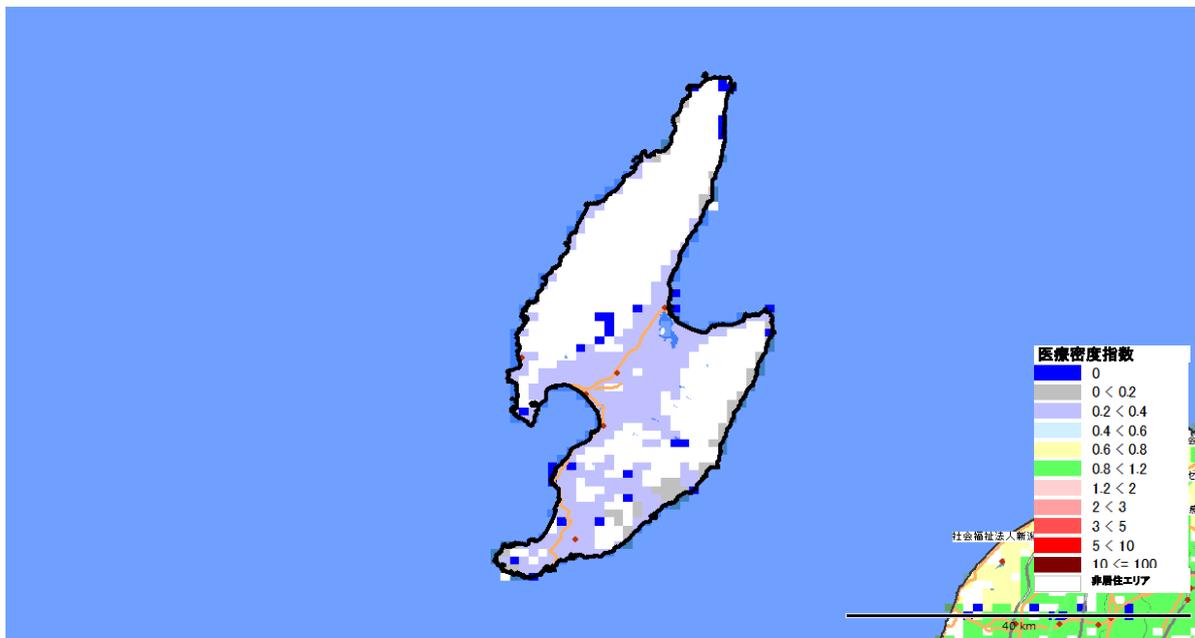


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表15-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-7-2 慢性期医療密度指数マップ



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。